# 地域福祉についてのアンケート調査

## 調 査 結 果 報 告 書

令和６年９月

稲　沢　市

# －目 次－


I. 調査概要 ..... 1
調査の目的 ..... 1
調査の設計 ..... 1
回収結果 ..... 1
報告書の見方 ..... 1

II. 調査結果 ..... 2
１　回答者の属性 ..... 2
Ｉ－Ｉ　性別 ..... 2
Ｉ－２　年齢 ..... 2
Ｉ－３　居住地区 ..... 3
Ｉ－４　職業 ..... 4
Ｉ－５　家族構成 ..... 4
Ｉ－６　同居家族の状況 ..... 5
Ｉ－７　居住年数 ..... 5
２　「地域」との関わりについて ..... 6
２－Ｉ　身近に感じる「地域」の範囲 ..... 6
２－２　地域とのつながりの有無 ..... 7
２－３　地域とのつながりがあると思うところ ..... 7
２－４　地域の住みやすさ ..... 8
２－５　地域とのつながりについての考え方 ..... 8
２－６　近所付き合いに対する考え方 ..... 9
２－７　近所付き合いの中で「手助けをして欲しい」と思うこと ..... 10
２－８　災害時に避難する際、手助けをお願いできる人の有無 ..... 10
２－９　防災や緊急時の対応に関する取組等の認知 ..... 11
２－10　大規模災害等に備えて地域で個人情報を共有することについての考え方 ..... 12
３　福祉への関心について ..... 13
３－Ｉ　福祉についての関心度 ..... 13
３－２　関心のある福祉分野 ..... 14
３－３　「稲沢市地域福祉計画」の認知度 ..... 14
４　地域の福祉課題について ..... 15
４－Ｉ　地域の福祉課題や問題点 ..... 15
４－２　生活上の困りごとの相談相手 ..... 17
４－３　「稲沢市社会福祉協議会」の認知度 ..... 18
４－４　社会福祉協議会に期待する役割 ..... 19
４－５　地域の民生委員・児童委員の認知度 ..... 20
４－６　地域の要支援者への支援についての考え ..... 21
４－７　周囲で「ひきこもり状態」だと思われる人の有無 ..... 22
４－８　「ひきこもり状態」の人に対して望まれる支援策 ..... 22

４－９　「ひきこもり状態」についての相談先の認知.....23
5　地域活動やボランティア活動について..... 24
５－１　地域活動やボランティア活動への参加状況 .....24
５－２　参加している地域活動の分野 .....25
５－３　活動に参加するためのきっかけ .....26
５－４　地域の問題についての話し合いの場等の有無と参加状況.....27
５－５　地域の要支援者にボランティアとして支援できること.....28
6　成年後見制度について..... 29
６－１　成年後見制度の認知度 .....29
６－２　成年後見制度の利用意向 .....29
６－３　後見人を頼みたい相手 .....30
６－４　成年後見制度についての相談先の認知 .....31
7　再犯防止の推進について..... 32
７－１　再犯防止に関係する協力者・施設の認知 .....32
７－２　犯罪をした人の立ち直りへの協力意向 .....32
７－３　協力したいと思わない理由 .....33
8　稲沢市のこれからの地域福祉について..... 34
８－１　地域福祉をより活発にするために住民がすべきこと.....34
８－２　市の福祉事業・活動全般の満足度 .....35
８－３　稲沢市の福祉の満足度 .....36
８－４　福祉教育の望まれる実施方法 .....37
８－５　市のこれからの福祉で重点をおくべきこと .....38
８－６　市の福祉に関する意見・要望等 .....39

# Ⅰ. 調査概要

## 調査の目的

この調査は、稲沢市民の福祉についての考え方や地域活動への参加状況などの実態を把握し、「稲沢市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定の基礎資料を得ることを目的として実施しました。

## 調査の設計

| | |
|---|---|
| 調査対象者 | 稲沢市に居住する中学生以上の男女 |
| 調査票配布数 | 2,800 人 |
| 調 査 期 間 | 令和６年８月９日～令和６年８月 29 日 |
| 調 査 方 法 | 郵送配布、郵送回収・Web 回答 |

## 回収結果

| 配布数 | 回収数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|---|---|---|---|
| 2,800 | 1,192<br>（うち Web251） | 1,192<br>（うち Web251） | 42.6% |

## 報告書の見方

- グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回答数を示しています。
- 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0%を超える場合があります。
- 本文中で、回答率等の割合（%）については「高い」「低い」、件数等の実数については「多い」「少ない」の表現を用いています。
- グラフ・表として示したもののうち、回答数が０の場合は表示を省略しています。また、選択肢等の文字数が長い場合に表記を簡略化してある場合があります。
- 調査結果の中で、前回の調査結果との比較を盛り込んでいる設問があります。前回調査の設計は、調査時期（令和元年８月）と調査方法（Web 回答可）を除いて同じであり、有効回収数は 1,252 件（回収率 44.9%）となっています。

# II. 調査結果

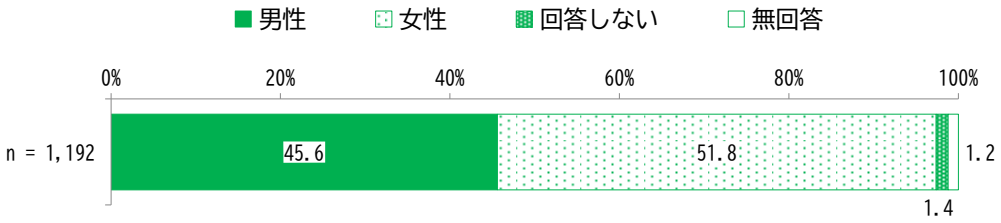
## 1　回答者の属性

### 1－1　性別

問Ⅰ－1　あなたの性別をお答えください。

➢「女性」が 51.8%、「男性」が 45.6%となっています。

**図表 Ⅰ-1 性別**

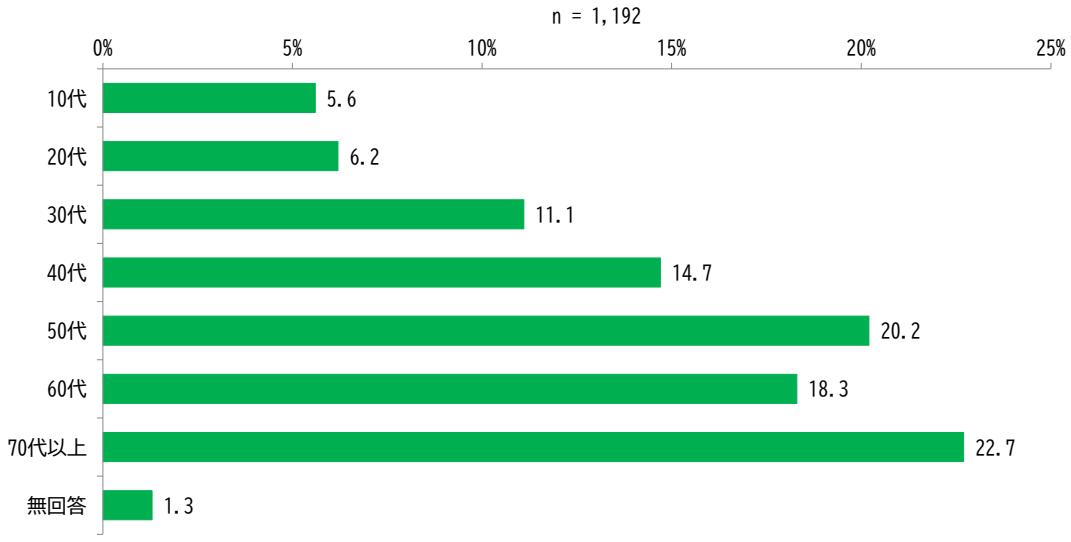



### 1－2　年齢

問Ⅰ－2　あなたの年齢をお答えください。

➢「70 代以上」が 22.7%で最も高く、次いで「50 代」が 20.2%、「60 代」が 18.3%となっています。

**図表 Ⅰ-2 年齢**

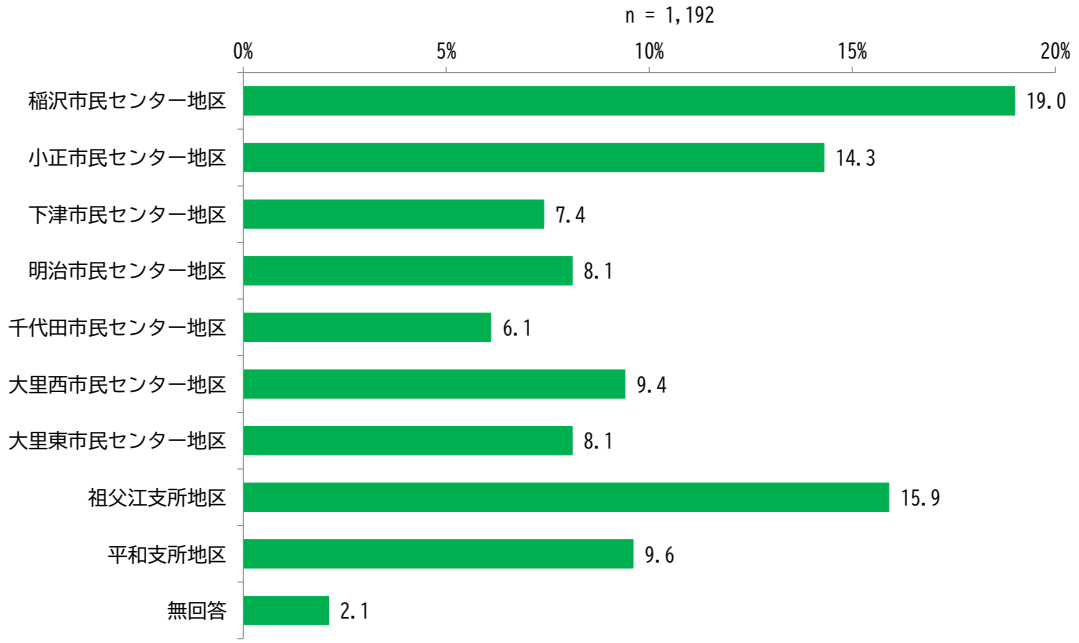


## １－３　居住地区

問Ｉ－３　あなたのお住まいの地区をお答えください。

- 「稲沢市民センター地区」が 19.0%で最も高く、次いで「祖父江支所地区」が 15.9%、「小正市民センター地区」が 14.3%となっています。また、「千代田市民センター地区」が 6.1%で最も低くなっています。

**図表 I-3 居住地区**

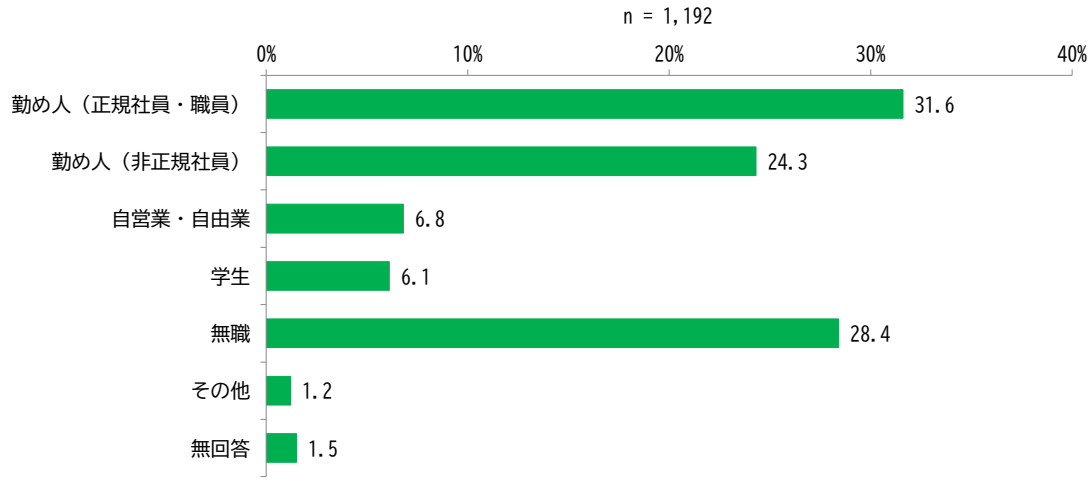


## １－４　職業

問Ｉ－４　あなたの現在の主な職業は次のうちどれですか。（Ｉつだけ）

➢「勤め人（正規社員・職員）」が 31.6％で最も高く、次いで「無職」が 28.4％、「勤め人（非正規社員）」が 24.3％となっています。

**図表 I-4 職業**

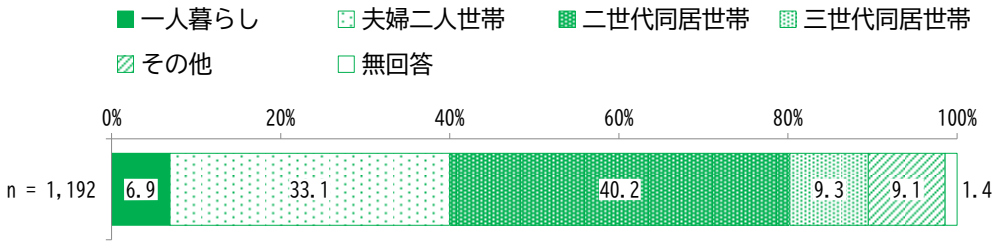



## １－５　家族構成

問Ｉ－５　あなたの家族構成は次のうちどれですか。（Ｉつだけ）

➢「二世代同居世帯」が 40.2％で最も高く、次いで「夫婦二人世帯」が 33.1％となっています。また、「一人暮らし」は 6.9％となっています。

**図表 I-5 家族構成**

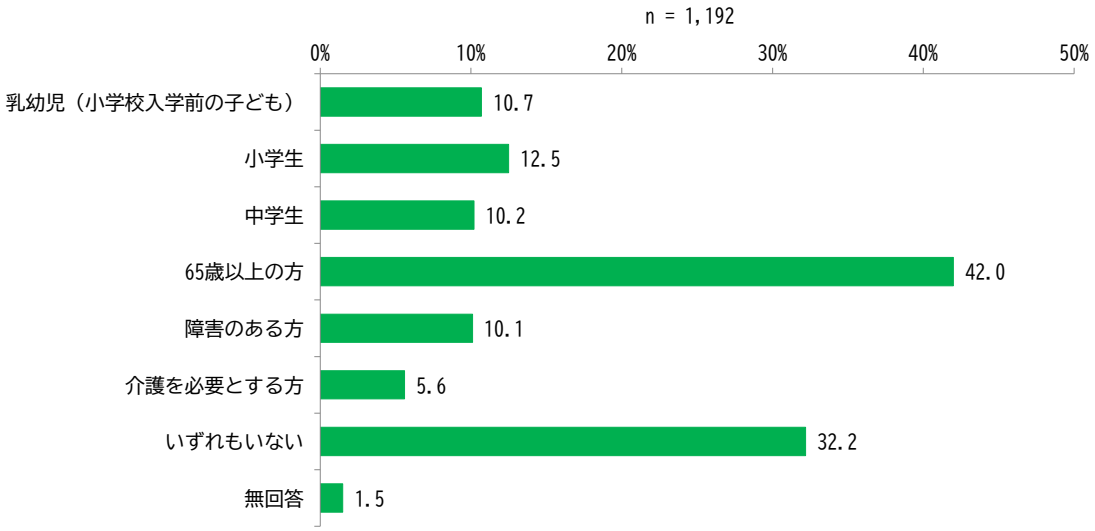


## １－６　同居家族の状況

問Ｉ－６　あなたと一緒に住んでいるご家族の中に次のような方はいらっしゃいますか。（いくつでも）※あなた自身も含みます。

➢「65 歳以上の方」が 42.0%で最も高く、次いで「いずれもいない」が 32.2%となっています。「乳幼児」「小学生」「中学生」「障害のある方」はいずれも1割前後となっています。

**図表 I-6 同居家族の状況**

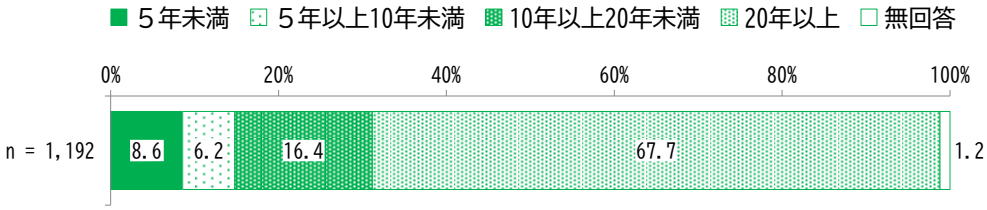



## １－７　居住年数

問Ｉ－７　稲沢市（合併前の祖父江町、平和町を含む）に住んでいる年数は次のうちどれですか。（１つだけ）

➢「20 年以上」が 67.7%で最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 16.4%となっています。

**図表 I-7 居住年数**



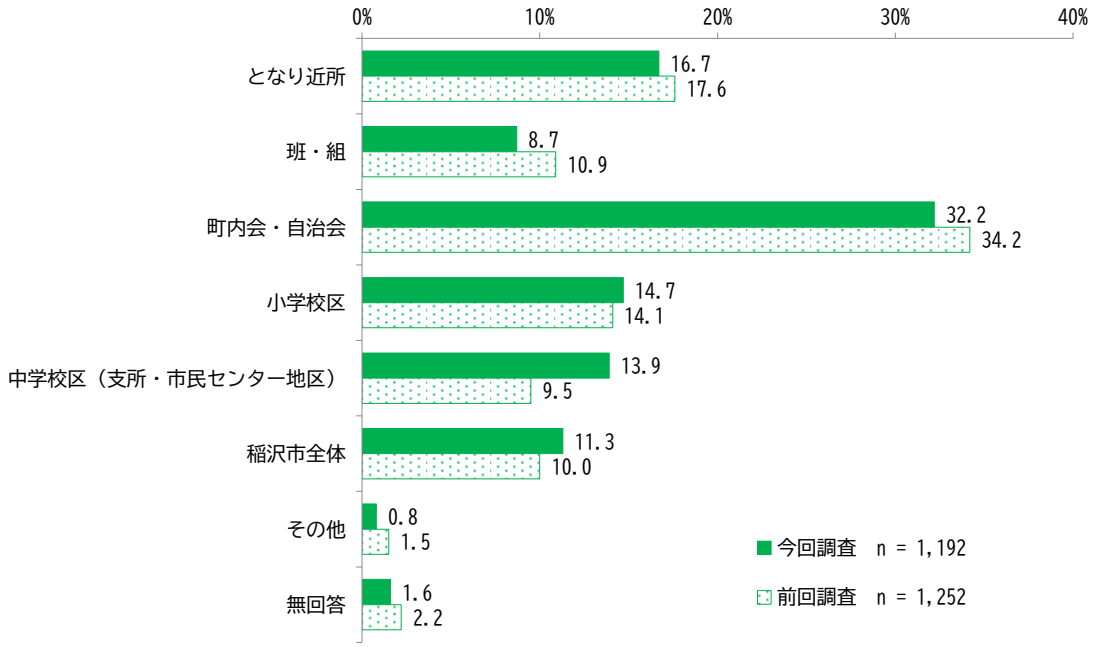
## ２　「地域」との関わりについて

### ２－１　身近に感じる「地域」の範囲

問２　あなたにとって身近に感じる「地域」とは、どこまでの範囲だと思いますか。
（１つだけ）

- 「町内会・自治会」が 32.2%で最も高く、次いで「となり近所」が 16.7%、「小学校区」が 14.7%、「中学校区（支所・市民センター地区）」が 13.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「中学校区」（前回 9.5%→今回 13.9%）が 4.4 ポイント増加し、前回第6位から今回第4位へと順位を上げています。

**図表 2-1 身近に感じる「地域」の範囲**

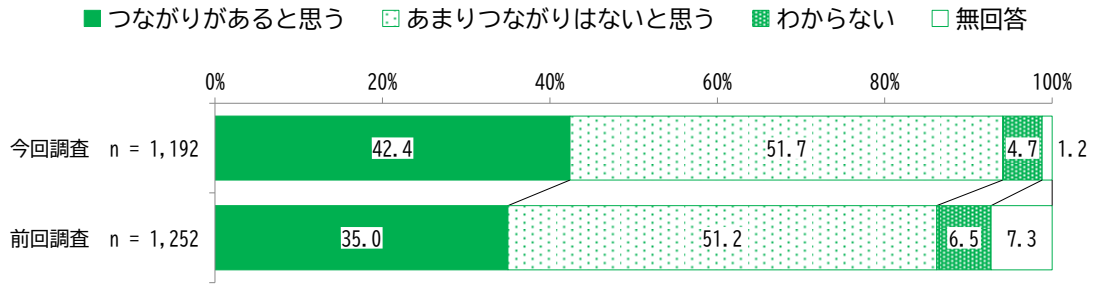


## ２－２　地域とのつながりの有無

問３　あなた自身は、地域とのつながりがあると思いますか。（１つだけ）

- 「あまりつながりはないと思う」が 51.7%、「つながりがあると思う」が 42.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「つながりがあると思う」（35.0%→42.4%）は 7.4 ポイント増加しています。

**図表 2-2 地域とのつながりの有無**

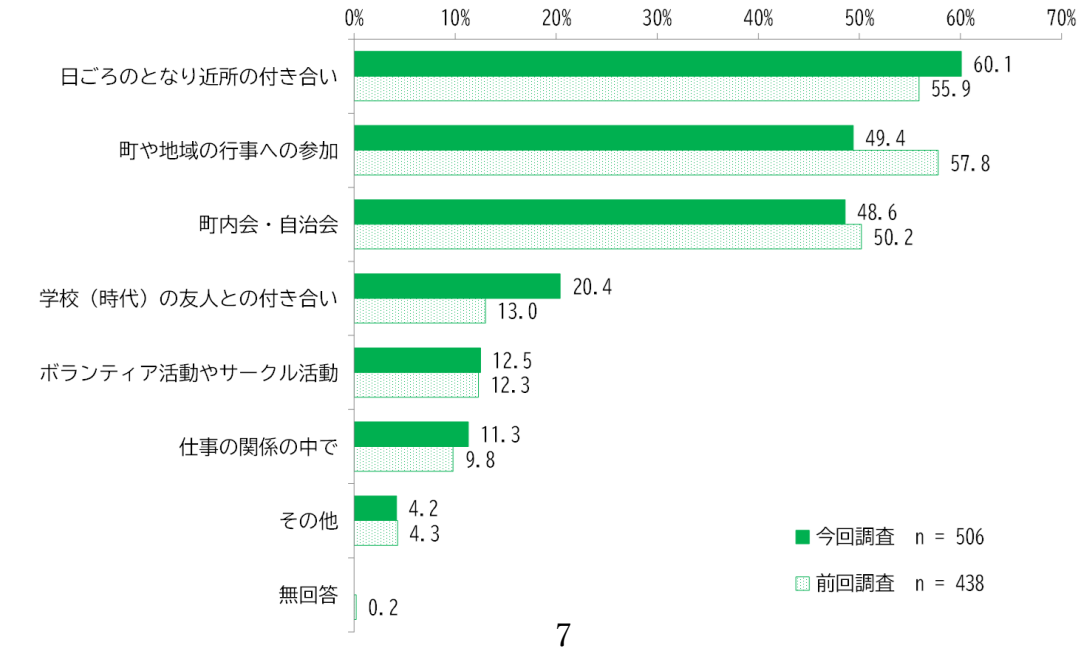



## ２－３　地域とのつながりがあると思うところ

【問３で「つながりがあると思う」と答えた方にお聞きします。】
問３－１　どのようなところでつながりがあると思いますか。（いくつでも）

- 「日ごろのとなり近所の付き合い」が 60.1%で最も高く、次いで「町や地域の行事への参加」が 49.4%、「町内会・自治会」が 48.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「町や地域の行事への参加」（57.8%→49.4%）が 8.4 ポイント減少し、第1位から第2位へと順位を下げています。

**図表 2-3 地域とのつながりがあると思うところ**

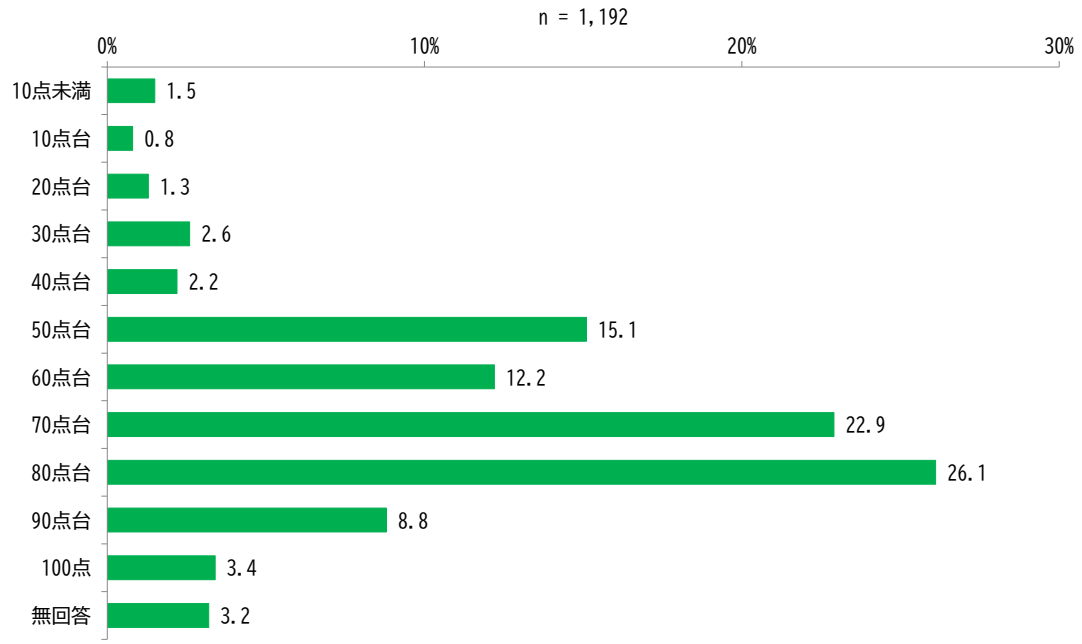


## ２－４　地域の住みやすさ

問４　あなたの地域の住みやすさを 100 点満点で評価すると、何点ですか。

- 「80 点台」が 26.1%で最も高く、次いで「70 点台」が 22.9%、「50 点台」が 15.1%となっています。全体の平均点は、67.9 点となっています。

**図表 2-4 地域の住みやすさ**

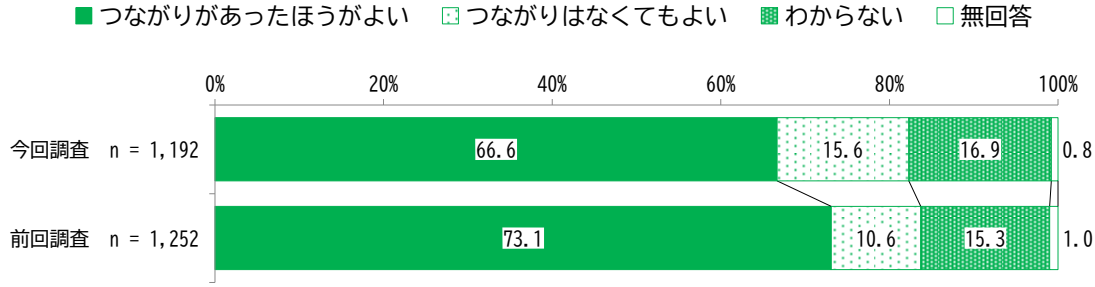



## ２－５　地域とのつながりについての考え方

問５　あなたは、地域とのつながりがあったほうがよいと思いますか。（１つだけ）

- 「つながりがあったほうがよい」が 66.6%、「つながりはなくてもよい」が 15.6%、「わからない」が 16.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「つながりがあったほうがよい」（73.1%→66.6%）は 6.5 ポイント減少しています。

**図表 2-5 地域とのつながりについての考え方**

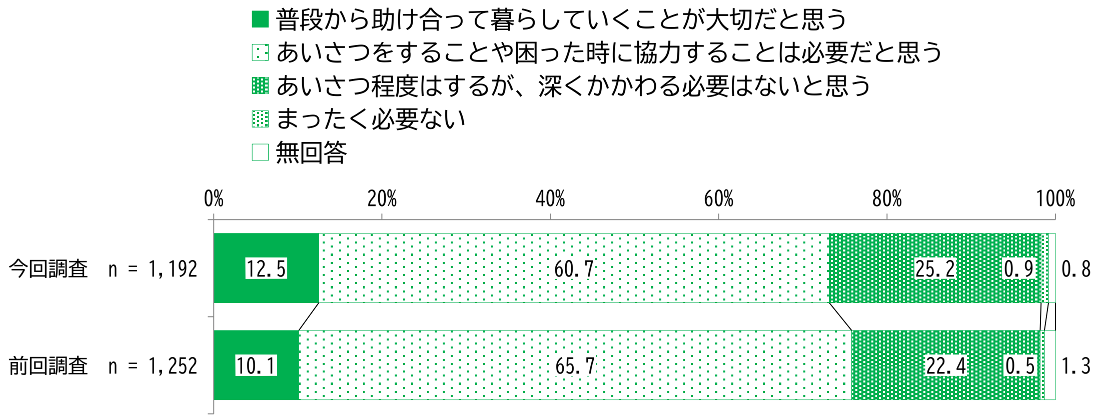


## ２－６　近所付き合いに対する考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問６　あなたのご近所とのお付き合いに対する考え方は、次のどれに近いですか。
（１つだけ）

- 「あいさつをすることや困った時に協力することは必要だと思う」が 60.7％で最も高く、次いで「あいさつ程度はするが、深くかかわる必要はないと思う」が 25.2％となっています。
- 前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

**図表 2-6 近所付き合いに対する考え方**

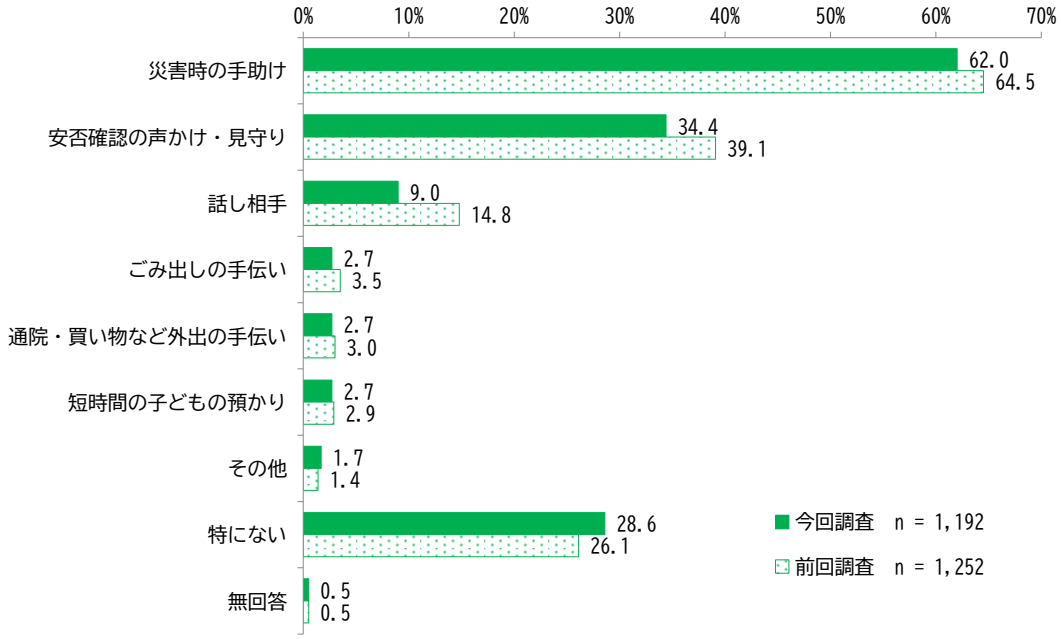


## ２－７　近所付き合いの中で「手助けをして欲しい」と思うこと ・・・・・・・・・・・・

問７　ご近所とのお付き合いの中で、あなたやあなたの家族が「手助けをして欲しい」と思うことはありますか。（いくつでも）

- 「災害時の手助け」が 62.0％で最も高く、次いで「安否確認の声かけ・見守り」が 34.4％、「特にない」が 28.6％となっています。
- 前回調査と比べると、「話し相手」（14.8％→9.0％）が 5.8 ポイント減少しています。

**図表 2-7 近所付き合いの中で「手助けをして欲しい」と思うこと**

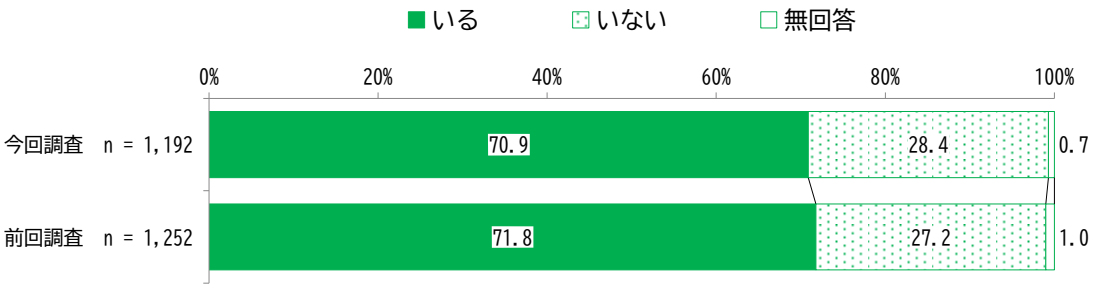



## ２－８　災害時に避難する際、手助けをお願いできる人の有無 ・・・・・・・・・・・・・・

問８　あなたは、地震や台風などの災害時に避難する際、手助けをお願いできる人（家族、近所の人など）がいますか。（１つだけ）

- 「いる」が 70.9％、「いない」が 28.4％となっています。
- 前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

**図表 2-8 災害時に避難する際、手助けをお願いできる人の有無**

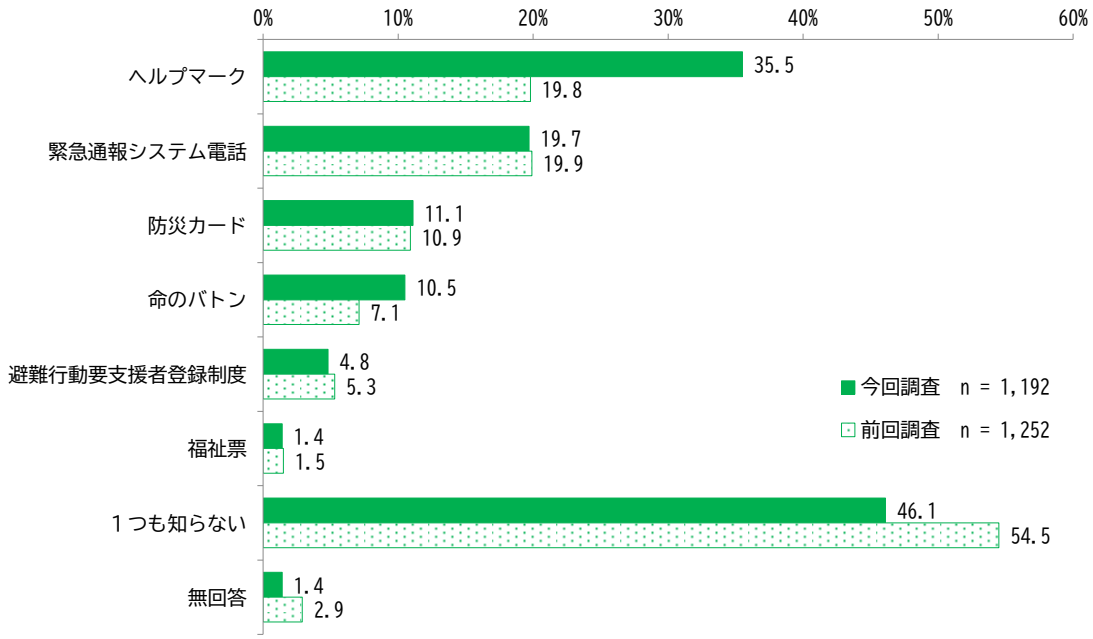


## ２－９　防災や緊急時の対応に関する取組等の認知 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問９　防災や緊急時の対応に関する以下の取組等について、知っているものをあげてください。（いくつでも）

- 「1つも知らない」が 46.1%で最も高く、次いで「ヘルプマーク」が 35.5%、「緊急通報システム電話」が 19.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「ヘルプマーク」（19.8%→35.5%）が 15.7 ポイント増加しています。また、「1つも知らない」（54.5%→46.1%）が 8.4 ポイント減少しています。

**図表 2-9 防災や緊急時の対応に関する取組等の認知**

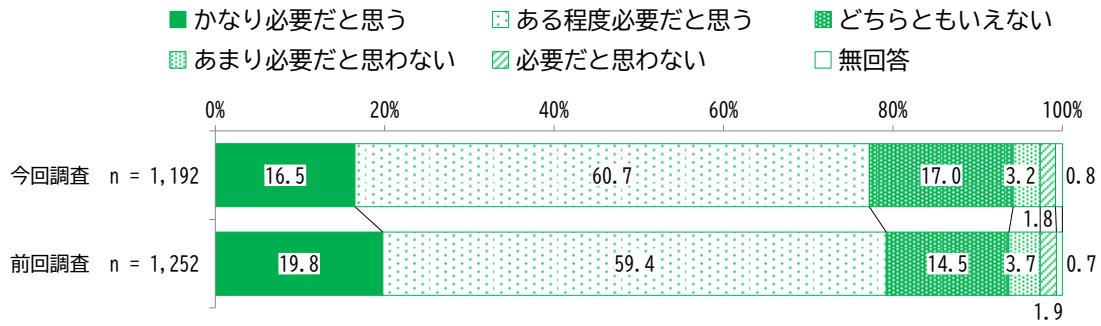


## ２－10　大規模災害等に備えて地域で個人情報を共有することについての考え方

問 10　大規模災害等の備えとして、避難行動要支援者登録制度等のように、地域で個人情報を共有することについて、どう思いますか。（１つだけ）

- 「ある程度必要だと思う」が 60.7%で最も高く、これに「かなり必要だと思う」を合わせた『必要だと思う』は計 77.2%となっています。一方、『必要だと思わない』(「必要だと思わない」「あまり必要だと思わない」の計)は 5.0%となっています。
- 前回調査と比べると、「かなり必要だと思う」(19.8%→16.5%)が 3.3 ポイント減少しています。

**図表 2-10 大規模災害等に備えて地域で個人情報を共有することについての考え方**



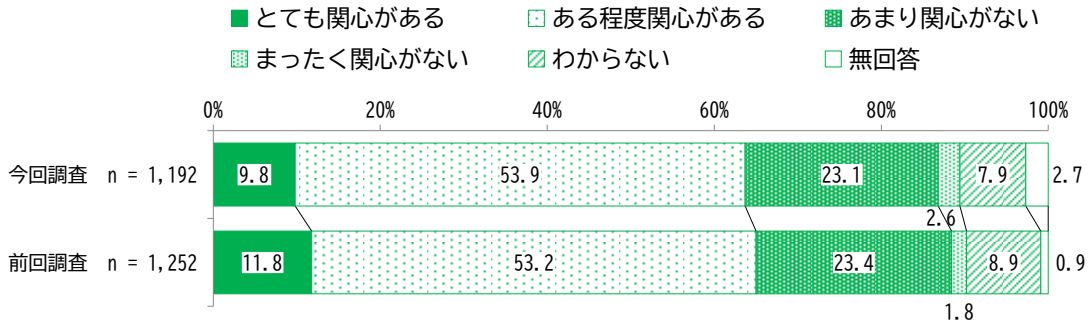
# 3　福祉への関心について

## 3－1　福祉についての関心度

問 11　あなたは、福祉について関心がありますか。（1つだけ）

- 「ある程度関心がある」が 53.9%で最も高く、これに「とても関心がある」を合わせた『関心がある』は計 63.7%となっています。一方、『関心がない』(「まったく関心がない」「あまり関心がない」の計)は 25.7%となっています。
- 前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

**図表 3-1 福祉についての関心度**

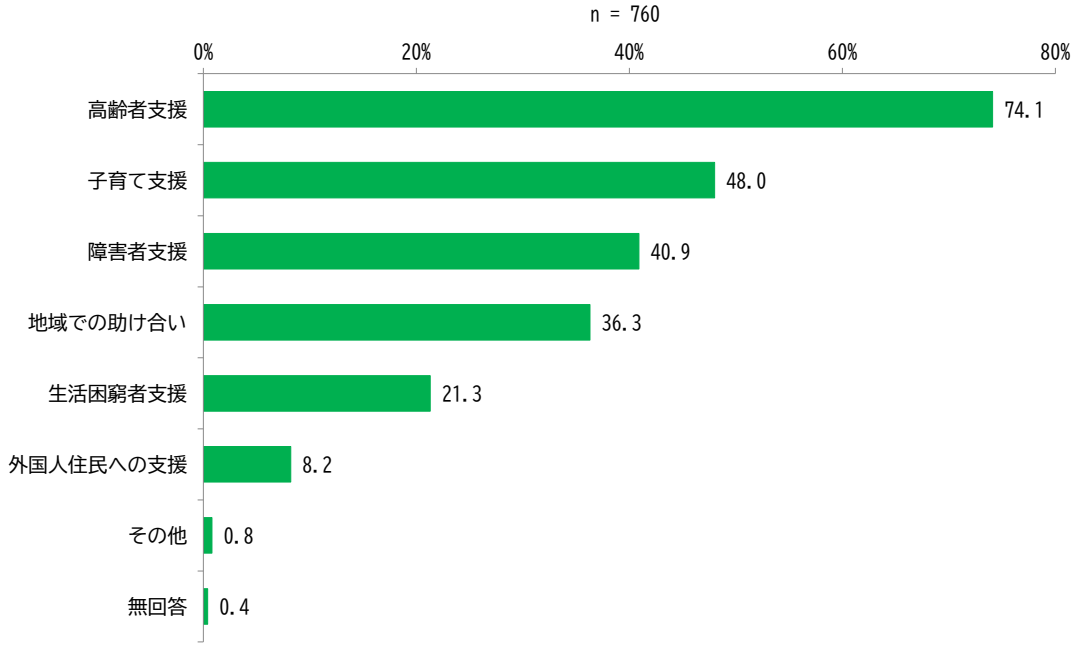


## ３－２　関心のある福祉分野

【問 11 で「とても関心がある」「ある程度関心がある」と答えた方にお聞きします。】
問 11－１　福祉のどのような分野に関心がありますか。（いくつでも）

- 「高齢者支援」が 74.1%で最も高く、次いで「子育て支援」が 48.0%、「障害者支援」が 40.9%、「地域での助け合い」が 36.3%となっています。

**図表 3-2 関心のある福祉分野**

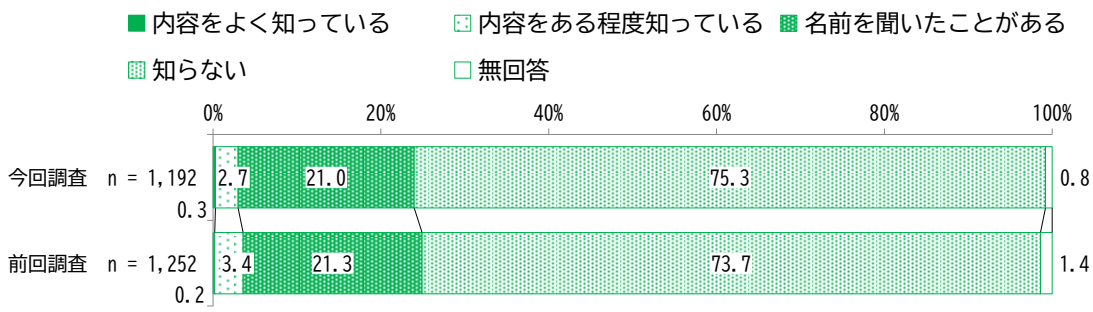



## ３－３　「稲沢市地域福祉計画」の認知度

問 12　あなたは、「稲沢市地域福祉計画」を知っていますか。（１つだけ）

- 「知らない」が 75.3%で最も高く、『知っている』(「内容をよく知っている」「内容をある程度知っている」「名前を聞いたことがある」の計)は合計 24.0%となっています。
- 前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

**図表 3-3「稲沢市地域福祉計画」の認知度**



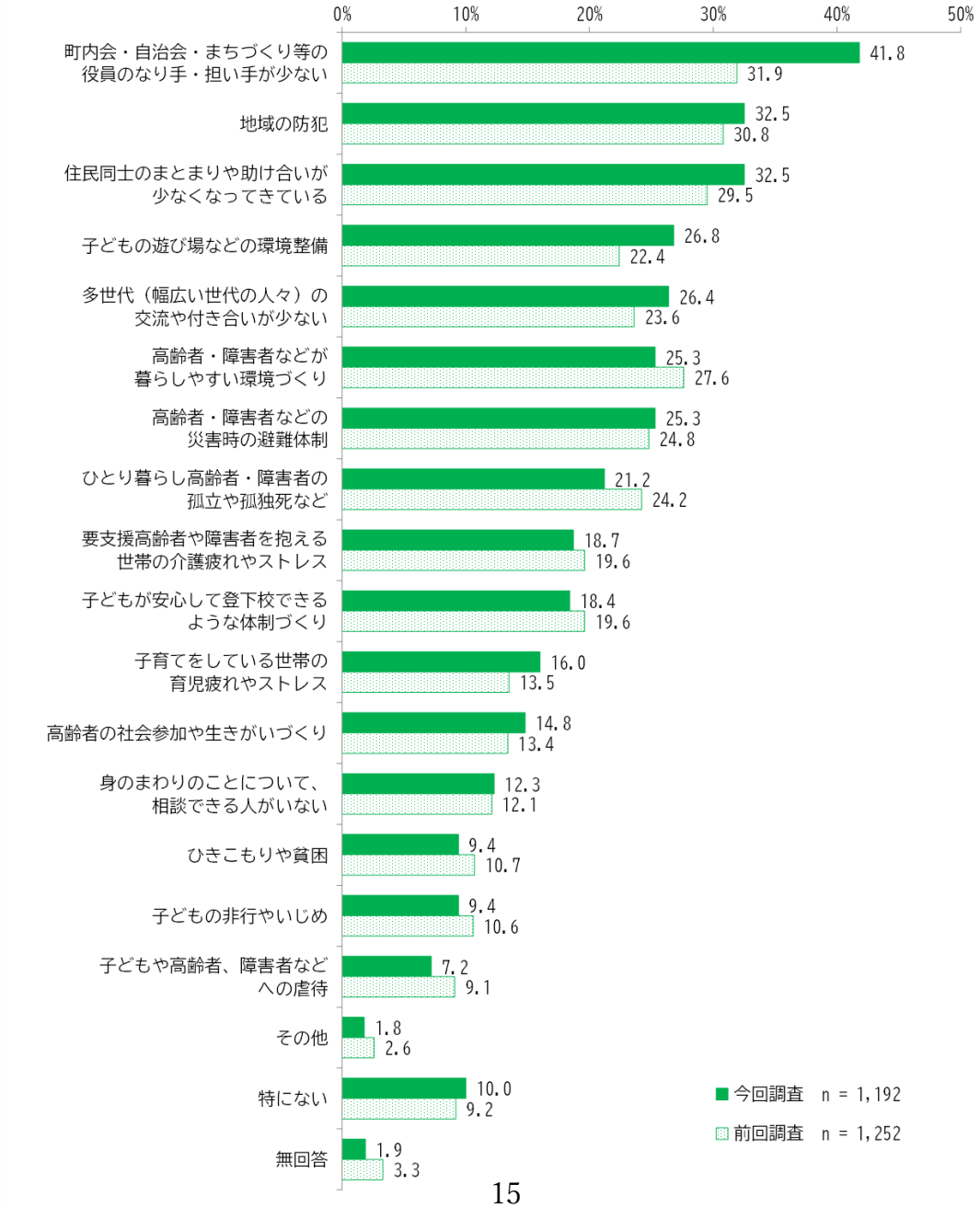
# 4　地域の福祉課題について

## 4－1　地域の福祉課題や問題点

問 13　あなたの住んでいる地域で、福祉に関し、どのような課題や問題があると思いますか。（いくつでも）

- 「町内会・自治会・まちづくり等の役員のなり手・担い手が少ない」が 41.8%で最も高く、次いで「地域の防犯」、「住民同士のまとまりや助け合いが少なくなってきている」がともに 32.5%となっています。
- 前回調査と比べると、「子どもの遊び場などの環境整備」（22.4%→26.8%）が第8位から第4位へと順位を上げています。

**図表 4-1-1 地域の福祉課題や問題点**



問 13－1　問 13 で答えた問題について、具体的な内容がありましたらご記入ください。

- 地域の福祉課題や問題点の具体的な内容については、199 件の回答がありました。内容別の件数は、下表のとおりです。

**図表 4-1-2 地域の福祉課題や問題点（具体的な内容）**

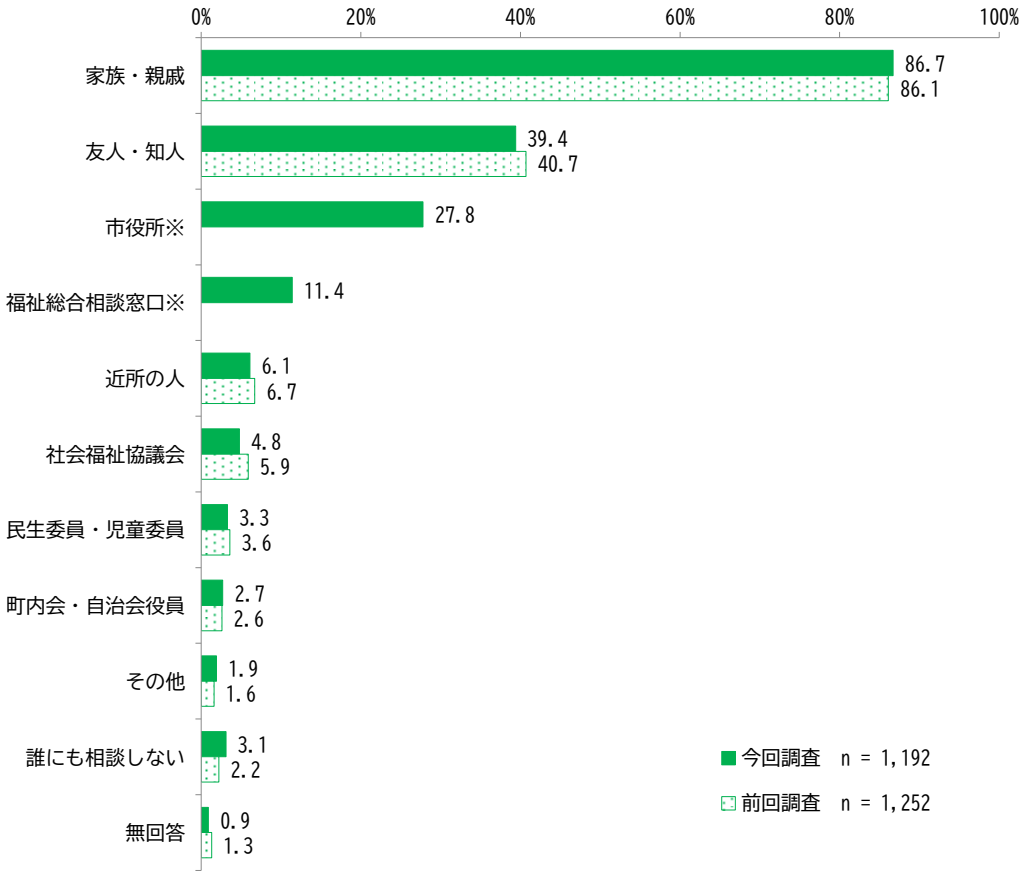
| | 内 容 | 件 数 |
|---|---|---|
| 1 | 町内の活動について（担い手不足、見守り活動、など） | 36 |
| 2 | 公園・遊び場の整備 | 26 |
| 3 | 歩道等の整備（外灯が暗い、歩くのに危険がある、など） | 20 |
| 4 | コミュニケーション・交流の機会、場所 | 16 |
| 5 | 防犯対策 | 15 |
| 6 | 交通手段について | 13 |
| 7 | 一人暮らしの人への配慮 | 7 |
| 8 | 災害について | 7 |
| 9 | 高齢者支援について | 7 |
| 10 | 情報提供 | 6 |
| 11 | ごみ問題 | 4 |
| 12 | 子育て支援について | 3 |
| 13 | 個人情報、プライバシー | 2 |
| 14 | 経済的支援 | 2 |
| 15 | 非行やいじめについて | 2 |
| 16 | その他 | 29 |
| 17 | わからない | 4 |
| 合 計 | | 199 |

## ４－２　生活上の困りごとの相談相手

問 14　もし、あなたが生活上の困りごとを抱えたとき、誰（どこ）に相談しますか。
（いくつでも）

- 「家族・親戚」が 86.7％で最も高く、次いで「友人・知人」が 39.4％、「市役所」が 27.8％、「福祉総合相談窓口」が 11.4％となっています。
- 前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

**図表 4-2 生活上の困りごとの相談相手**



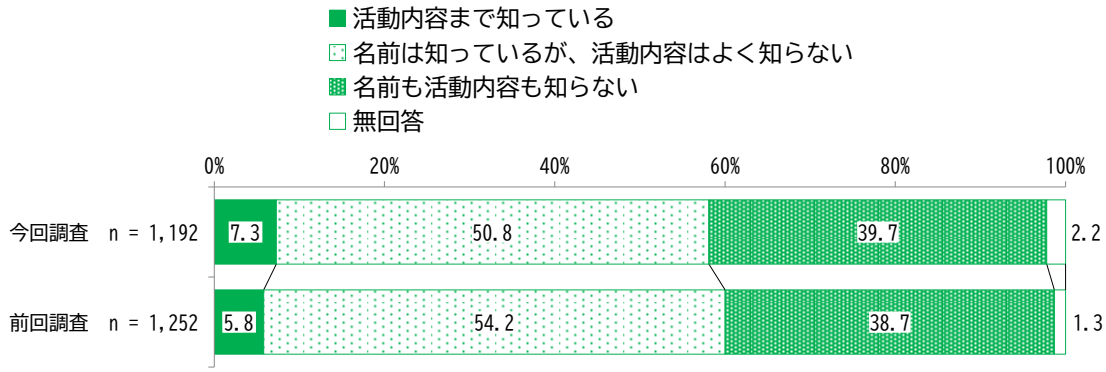

※「市役所」「福祉総合相談窓口」は今回調査のみの選択肢

## ４－３　「稲沢市社会福祉協議会」の認知度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 15　稲沢市には、地域福祉の向上のために、地域で手助けが必要な人の相談にのったり、社会福祉への住民参加を促したり、さまざまな活動を行う「稲沢市社会福祉協議会」があります。あなたは、この組織を知っていますか。（１つだけ）

- 「名前は知っているが、活動内容はよく知らない」が 50.8%で最も高く、これに「活動内容まで知っている」を合わせた『知っている』は計 58.1%となっています。一方、「名前も活動内容も知らない」は 39.7%となっています。
- 前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

**図表 4-3「稲沢市社会福祉協議会」の認知度**

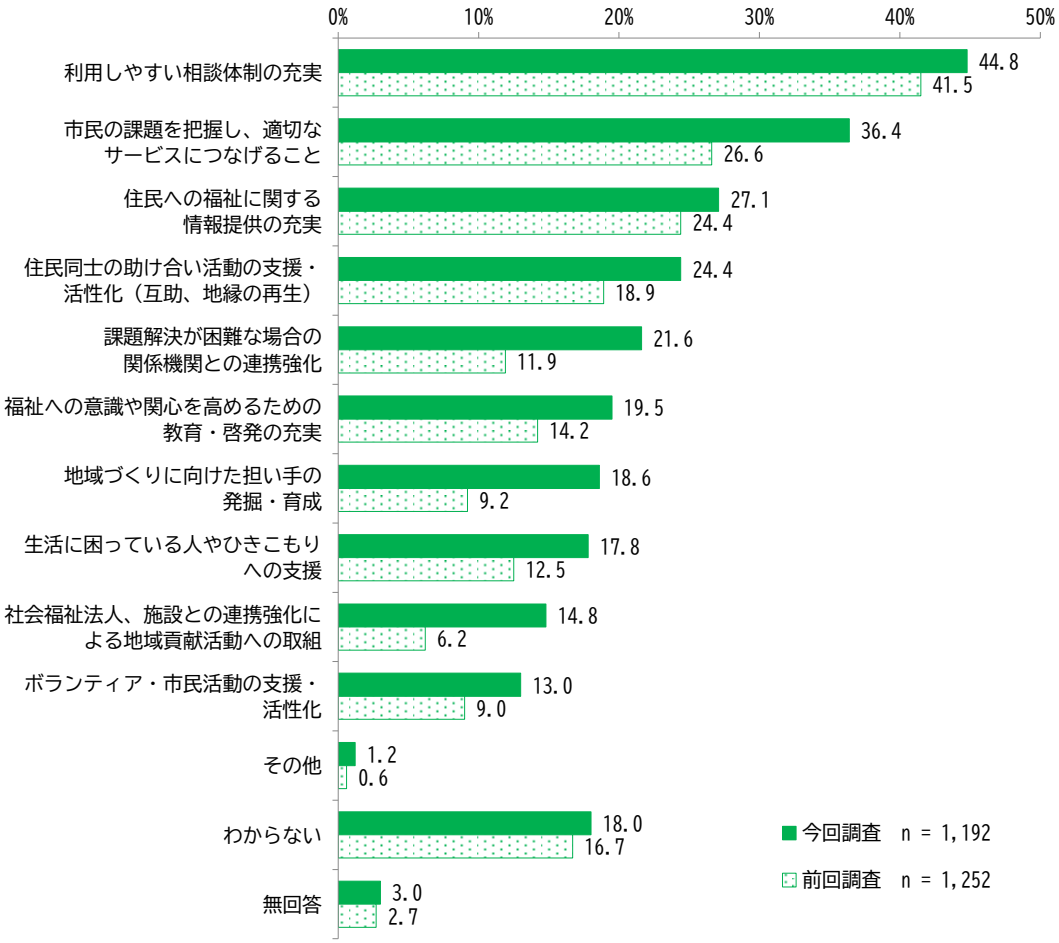


## ４－４　社会福祉協議会に期待する役割

問 16　あなたは、社会福祉協議会に期待する役割は何だと思いますか。（いくつでも）

- 「利用しやすい相談体制の充実」が 44.8%で最も高く、次いで「市民の課題を把握し、適切なサービスにつなげること」が 36.4%、「住民への福祉に関する情報提供の充実」が 27.1%、「住民同士の助け合い活動の支援・活性化（互助、地縁の再生）」が 24.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「市民の課題を把握し、適切なサービスにつなげること」（26.6%→36.4%）、「課題解決が困難な場合の関係機関との連携強化」（11.9%→21.6%）、「地域づくりに向けた担い手の発掘・育成」（9.2%→18.6%）がいずれも約 10 ポイント増加しています。

**図表 4-4 社会福祉協議会に期待する役割**

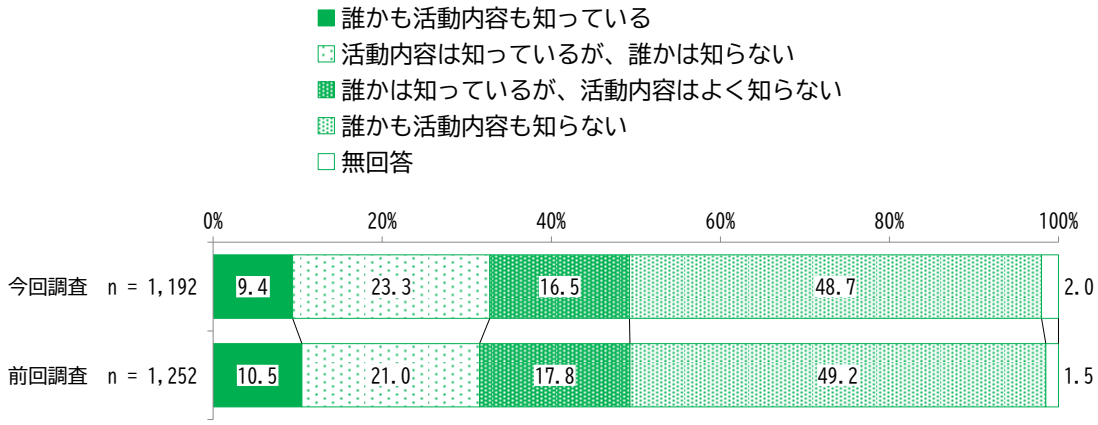


## ４－５　地域の民生委員・児童委員の認知度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 17　民生委員・児童委員は、社会福祉の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会をめざして、さまざまな活動を行っています。あなたは、お住まいの地域の民生委員・児童委員を知っていますか。（１つだけ）

- 「誰かも活動内容も知らない」が 48.7%で最も高く、『知っている』(「誰かも活動内容も知っている」「活動内容は知っているが、誰かは知らない」「誰かは知っているが、活動内容はよく知らない」の計)は 49.2%となっています。
- 前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

**図表 4-5 地域の民生委員・児童委員の認知度**

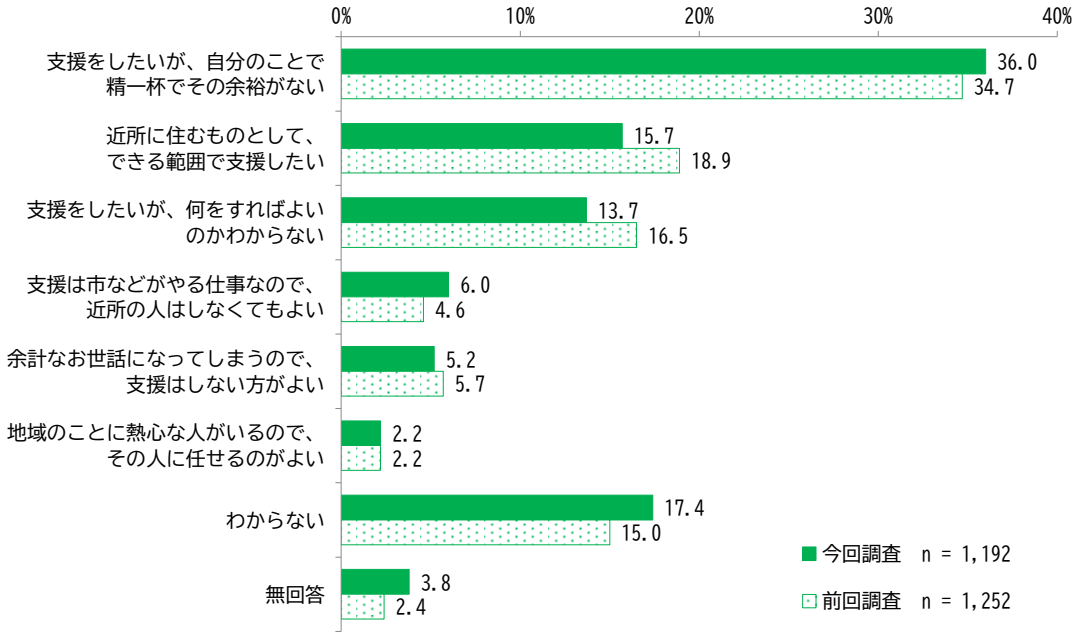


## ４－６　地域の要支援者への支援についての考え ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 18　あなたの住んでいる地域で、何らかの支援を必要としている方（一人暮らしの高齢者、介護を必要としている方、子育て中の家族など）への支援について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（１つだけ）

- 「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が 36.0%で最も高く、次いで「わからない」が 17.4%、「近所に住むものとして、できる範囲で支援したい」が 15.7%、「支援をしたいが、何をすればよいのかわからない」が 13.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「近所に住むものとして、できる範囲で支援したい」（18.9%→15.7%）が 3.2 ポイント減少しています。

**図表 4-6 地域の要支援者への支援についての考え**

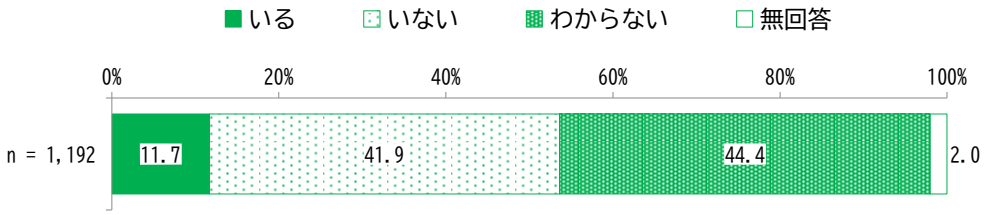


## ４－７　周囲で「ひきこもり状態」だと思われる人の有無 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 19　あなたを含め、あなたの周り（隣近所・友人等）に「ひきこもり状態」だと思われる方はいますか。（１つだけ）

➢「わからない」が 44.4%で最も高く、次いで「いない」が 41.9%、「いる」が 11.7%となっています。

**図表 4-7 周囲で「ひきこもり状態」だと思われる人の有無**

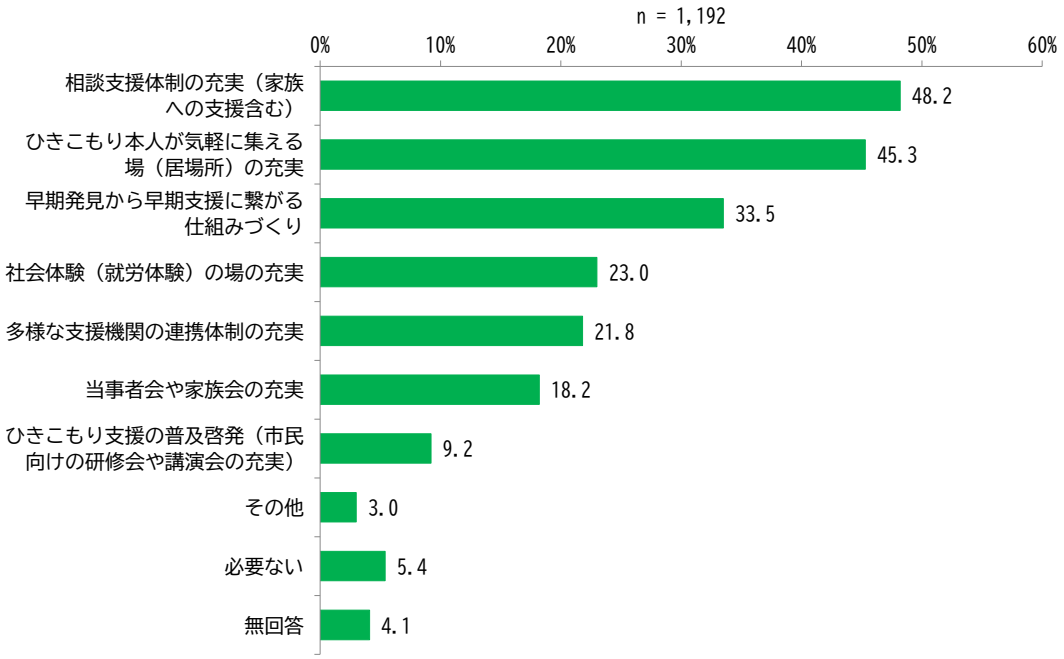



## ４－８　「ひきこもり状態」の人に対して望まれる支援策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 20　「ひきこもり状態」の方に対し、どのような支援策があると良いと思いますか。（いくつでも）

➢「相談支援体制の充実（家族への支援含む）」が 48.2%で最も高く、次いで「ひきこもり本人が気軽に集える場（居場所）の充実」が 45.3%、「早期発見から早期支援に繋がる仕組みづくり」が 33.5%となっています。

**図表 4-8「ひきこもり状態」の人に対して望まれる支援策**

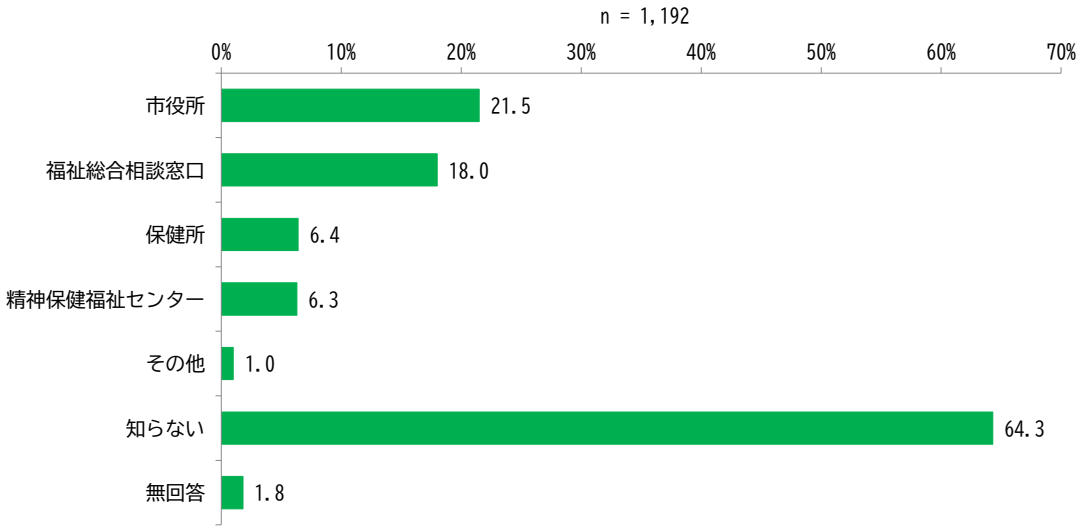


## ４－９　「ひきこもり状態」についての相談先の認知 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 21　「ひきこもり状態」について相談できるところを知っていますか。（いくつでも）

- 「知らない」が 64.3%で最も高く、次いで「市役所」が 21.5%、「福祉総合相談窓口」が 18.0%となっています。

**図表 4-9「ひきこもり状態」についての相談先の認知**



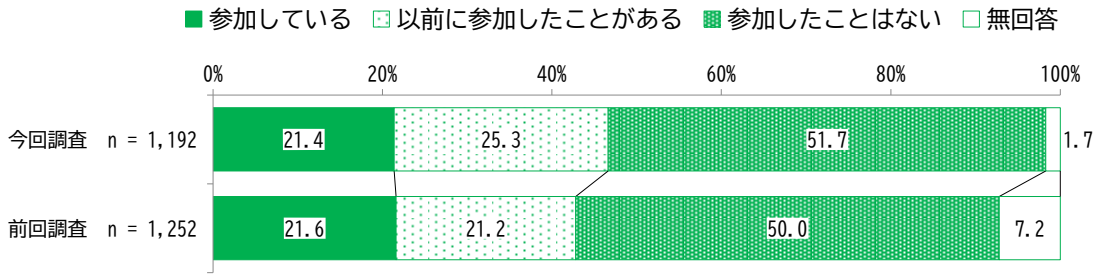
# ５　地域活動やボランティア活動について

## ５－１　地域活動やボランティア活動への参加状況

問 22　あなたは、地域の活動やボランティア活動に参加したことがありますか。
（１つだけ）

- 「参加したことはない」が 51.7%で最も高く、『参加経験がある』(「参加している」「以前に参加したことがある」の計)は 46.7%となっています。
- 前回調査と比べると、『参加経験がある』(42.8%→46.7%)が 3.9 ポイント増加しています。

**図表 5-1 地域活動やボランティア活動への参加状況**

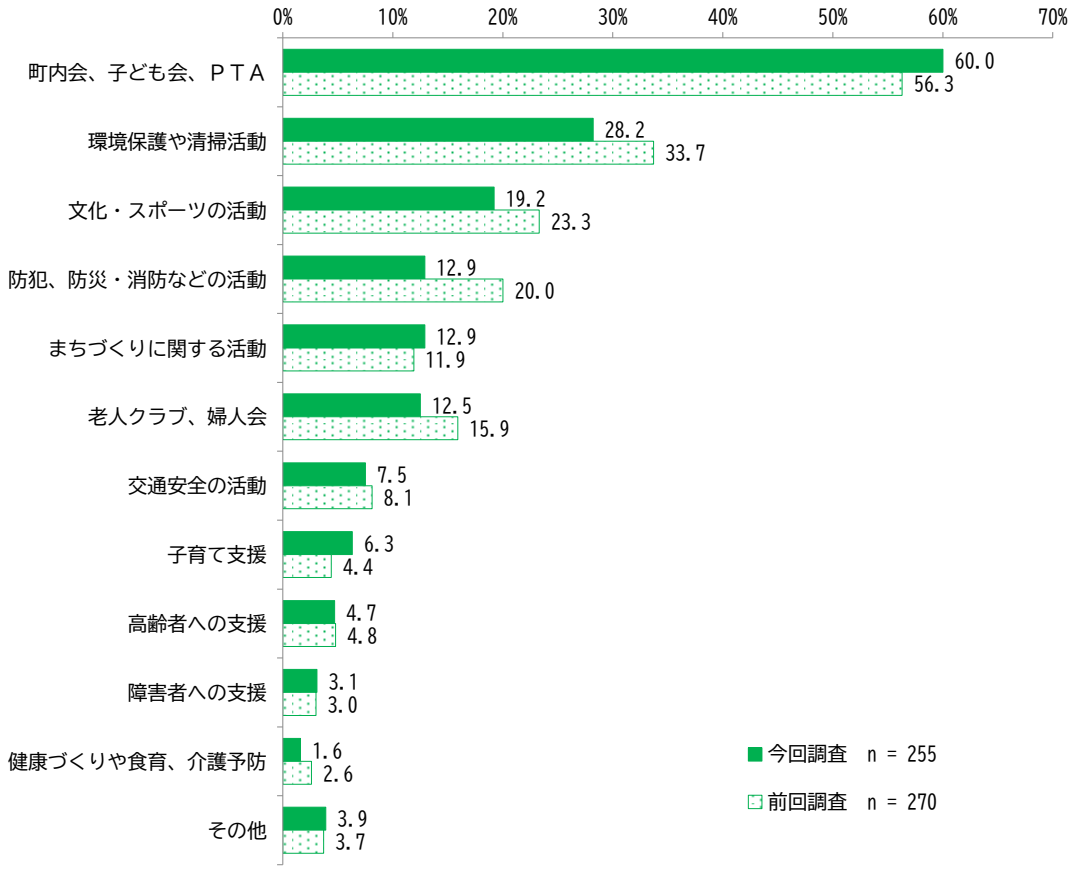


## ５－２　参加している地域活動の分野

【問 22 で「参加している」と答えた方にお聞きします。】
問 22－１　どのような活動に参加していますか。（いくつでも）

- 「町内会、子ども会、PTA」が 60.0％で最も高く、次いで「環境保護や清掃活動」が 28.2％、「文化・スポーツの活動」が 19.2％となっています。
- 前回調査と比べると、「防犯、防災・消防などの活動」（20.0％→12.9％）が 7.1 ポイント減少しています。

**図表 5-2 参加している地域活動の分野**

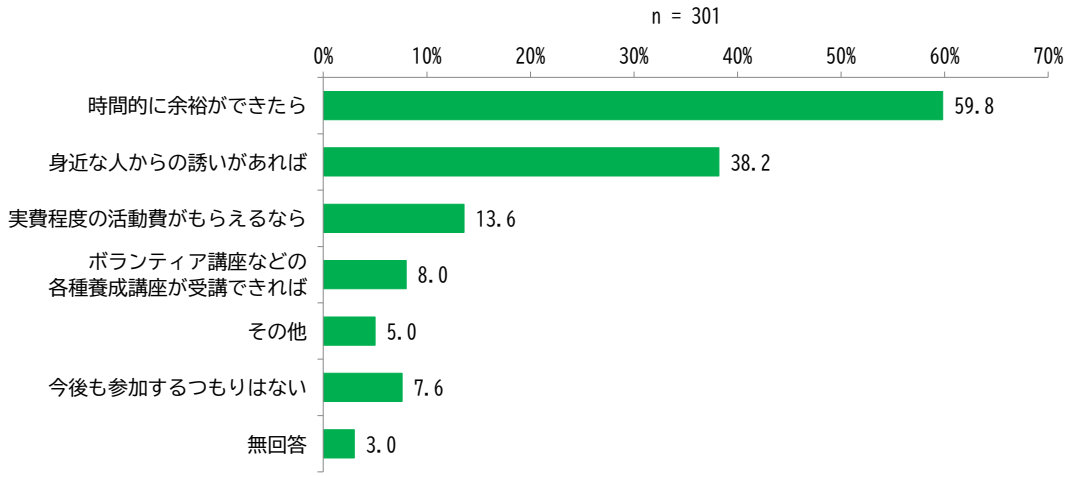


## ５－３　活動に参加するためのきっかけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【問 22 で「以前に参加したことがある」と答えた方にお聞きします。】
問 22－２　どのようなきっかけがあれば参加したいと思いますか。（いくつでも）

- 「時間的に余裕ができたら」が 59.8%で最も高く、次いで「身近な人からの誘いがあれば」が 38.2%、「実費程度の活動費がもらえるなら」が 13.6%となっています。

**図表 5-3 活動に参加するためのきっかけ**

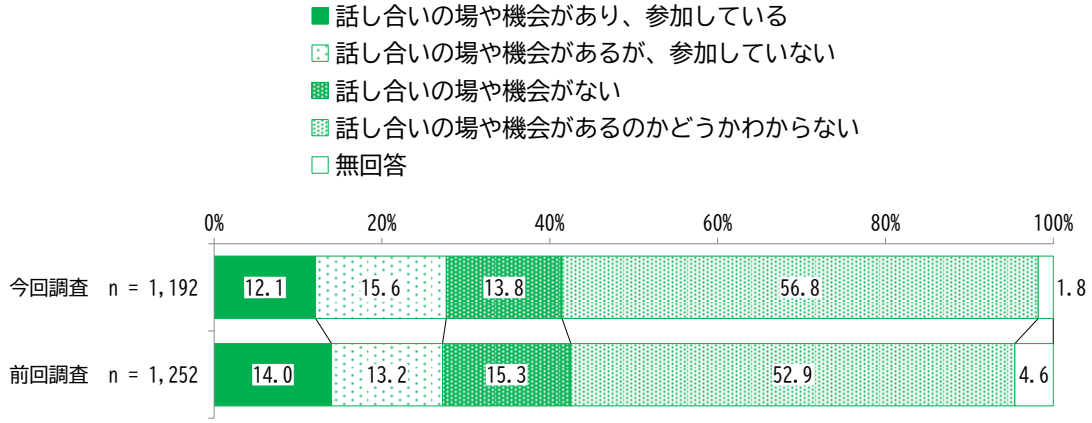


## ５－４　地域の問題についての話し合いの場等の有無と参加状況 ・・・・・・・・・・・・

問 23　あなたの住んでいる地域の問題について、話し合いの場や機会がありますか。
また、あなたはそこに参加していますか。（１つだけ）

- 「話し合いの場や機会があるのかどうかわからない」が 56.8%で最も高く、「話し合いの場や機会があり、参加している」は 12.1%、これに「話し合いの場や機会があるが、参加していない」を合わせた『話し合いの場や機会がある』は計 27.7%となっています。また、「話し合いの場や機会がない」は 13.8%となっています。
- 前回調査と比べると、「話し合いの場や機会があるのかどうかわからない」（52.9%→56.8%）が 3.9 ポイント増加しています。

**図表 5-4 地域の問題についての話し合いの場等の有無と参加状況**



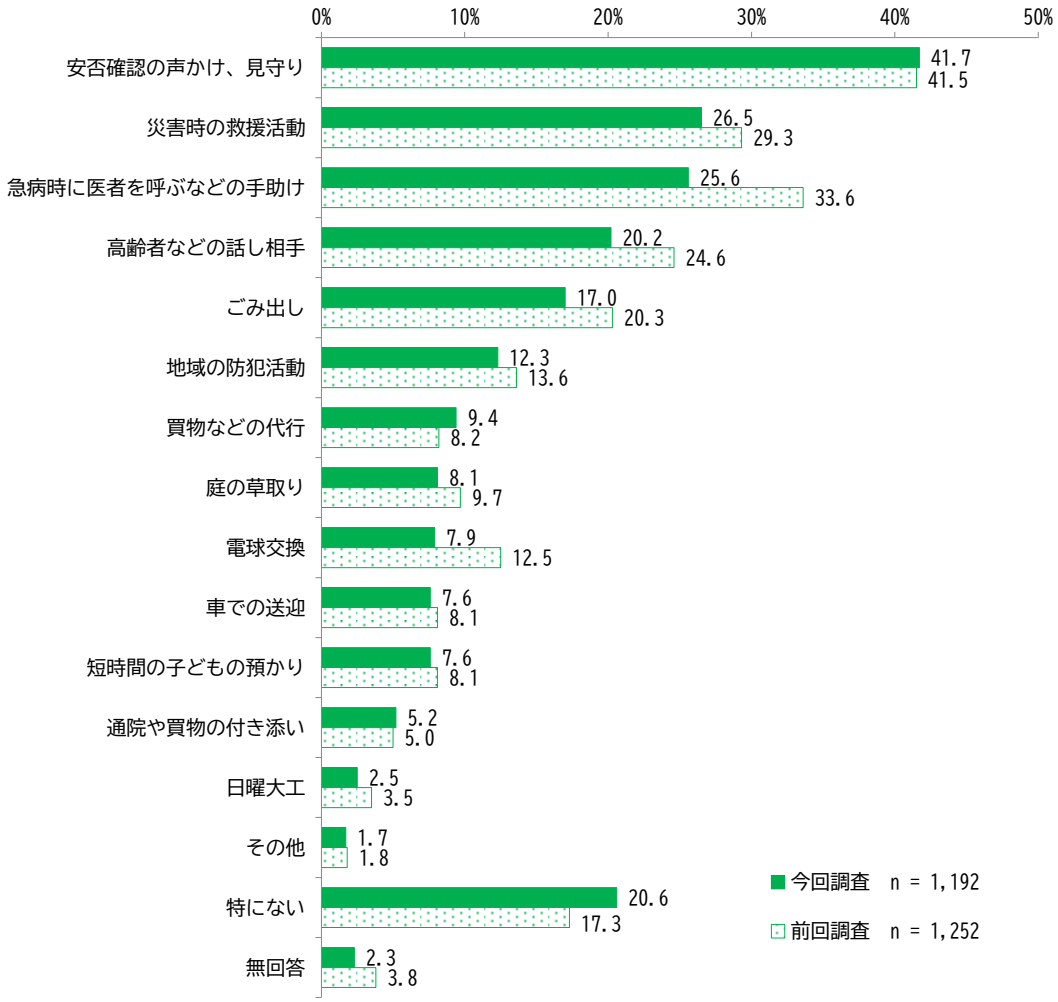
## ５－５　地域の要支援者にボランティアとして支援できること ・・・・・・・・・・・・・・・

問 24　あなたの住んでいる地域で、何らかの支援を必要としている方（一人暮らしの高齢者、介護を必要としている方、子育て中の家族など）がいた場合、ボランティアとして、あなたはどのようなことなら支援できると思いますか。

（いくつでも）

- 「安否確認の声かけ、見守り」が 41.7％で最も高く、次いで「災害時の救援活動」が 26.5％、「急病時に医者を呼ぶなどの手助け」が 25.6％、「特にない」が 20.6％となっています。
- 前回調査と比べると、「買物などの代行」（8.2％→9.4％）が第 10 位から第8位へと順位を上げています。

**図表 5-5 地域の要支援者にボランティアとして支援できること**



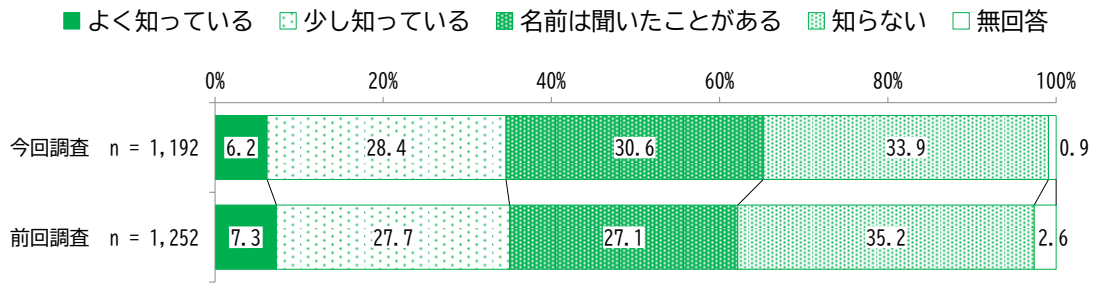
# 6　成年後見制度について

## 6－1　成年後見制度の認知度

問 25　あなたは、成年後見制度を知っていますか。（１つだけ）

- 「知らない」が 33.9%で最も高く、『知っている』(「よく知っている」「少し知っている」「名前は聞いたことがある」の計)は 65.2%となっています。
- 前回調査と比べると、『知っている』(62.1%→65.2%)は 3.1 ポイント増加しています。

**図表 6-1 成年後見制度の認知度**

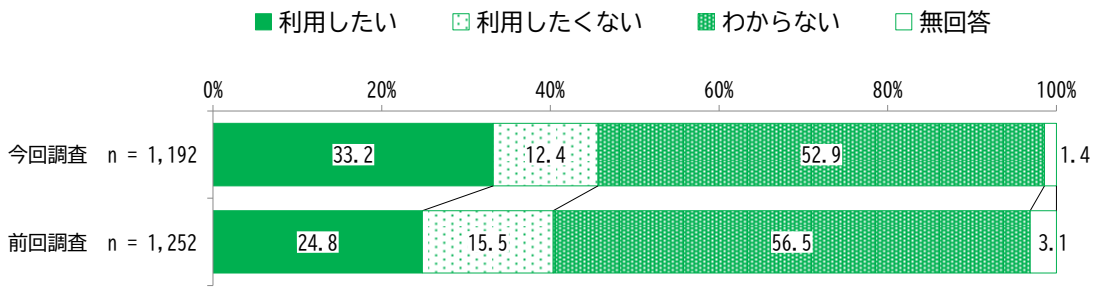



## 6－2　成年後見制度の利用意向

問 26　あなた自身や親族が、認知症などにより判断が十分にできなくなったとき「成年後見制度」を利用したいですか。（１つだけ）

- 「わからない」が 52.9%で最も高く、次いで「利用したい」が 33.2%、「利用したくない」が 12.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「利用したい」(24.8%→33.2%)が 8.4 ポイント増加しています。

**図表 6-2 成年後見制度の利用意向**

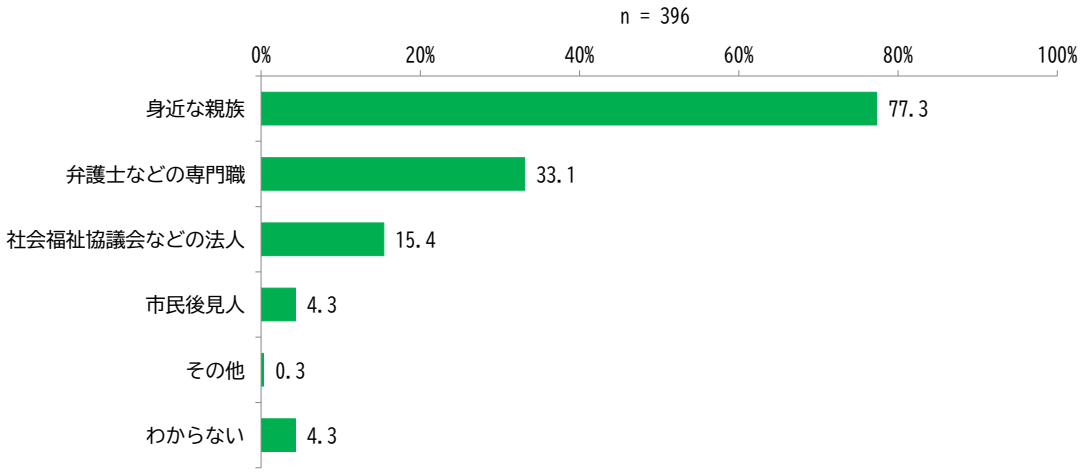


## ６－３　後見人を頼みたい相手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【問 26 で「利用したい」と答えた方にお聞きします。】
問 26－１　成年後見制度を利用する場合、誰に後見人をお願いしたいと思いますか。
（いくつでも）

- 「身近な親族」が 77.3%で最も高く、次いで「弁護士などの専門職」が 33.1%、「社会福祉協議会などの法人」が 15.4%となっています。

**図表 6-3 後見人を頼みたい相手**

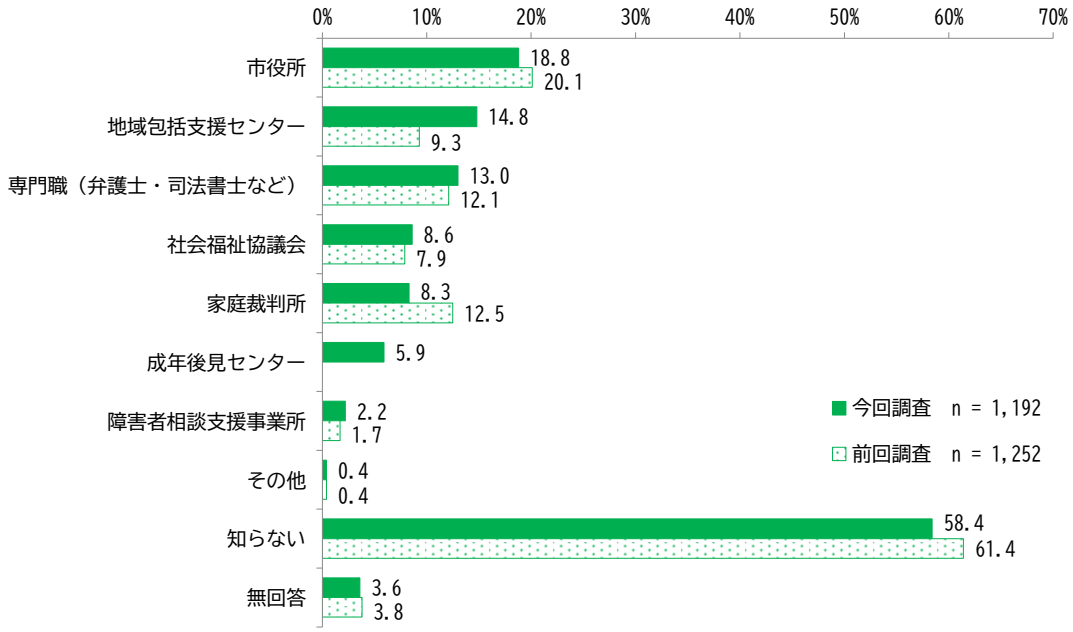


## ６－４　成年後見制度についての相談先の認知

問 27　成年後見制度について相談できる所を知っていますか。（いくつでも）

- 「知らない」が 58.4%で最も高く、次いで「市役所」が 18.8%、「地域包括支援センター」が 14.8%、「専門職（弁護士・司法書士など）」が 13.0%となっています。
- 前回調査と比べると、「地域包括支援センター」（9.3%→14.8%）が第5位から第3位へと順位を上げています。

**図表 6-4 成年後見制度についての相談先の認知**



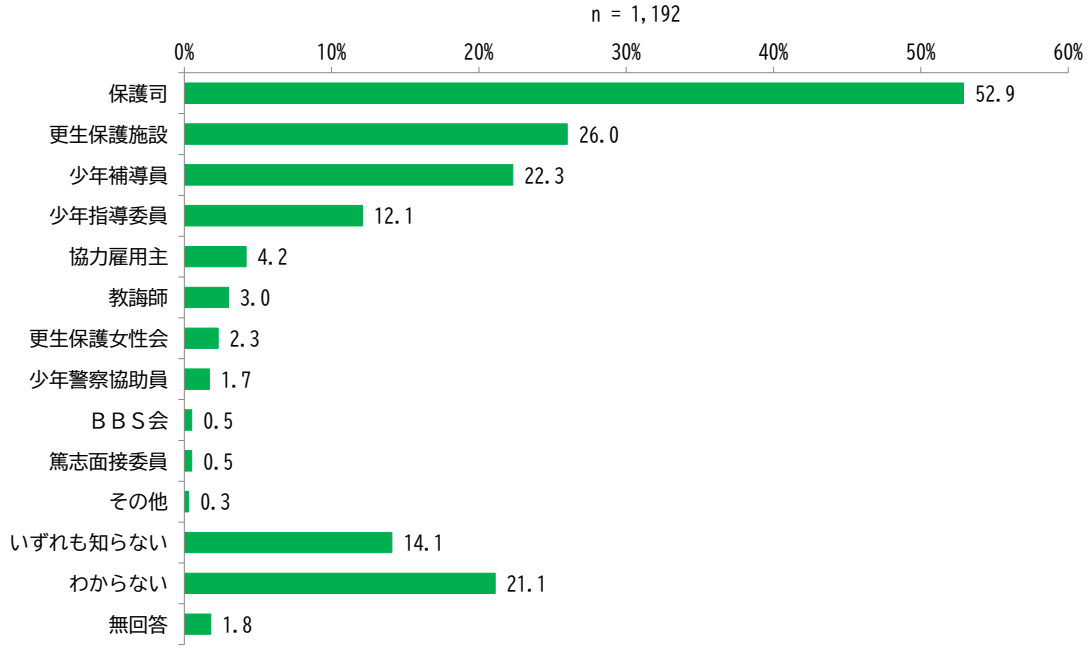
# 7　再犯防止の推進について

## 7－1　再犯防止に関係する協力者・施設の認知

問 28　「再犯の防止等の推進に関する法律」に基づき、国は、犯罪をした人の再犯を予防する取組を推進しています。あなたが、再犯防止に関係する協力者・施設として、知っているものをあげてください。（いくつでも）

➢「保護司」が 52.9%で最も高く、次いで「更生保護施設」が 26.0%、「少年補導員」が 22.3%となっています。また、「いずれも知らない」が 14.1%、「わからない」が 21.1%となっています。

**図表 7-1 再犯防止に関係する協力者・施設の認知**

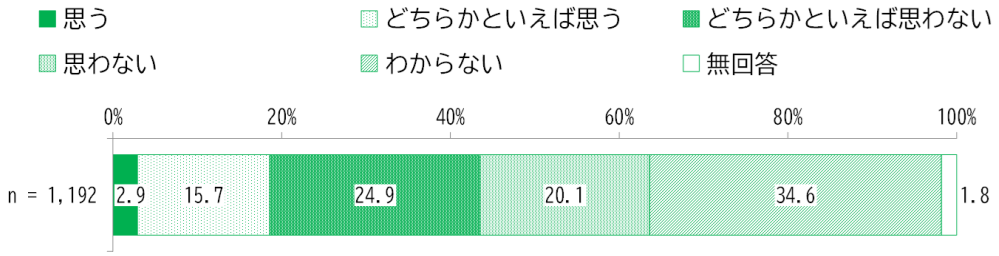



## 7－2　犯罪をした人の立ち直りへの協力意向

問 29　あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。（１つだけ）

➢「わからない」が 34.6%で最も高く、『思う』（「思う」「どちらかといえば思う」の計）は 18.6%、『思わない』（「思わない」「どちらかといえば思わない」の計）は 45.0%となっています。

**図表 7-2 犯罪をした人の立ち直りへの協力意向**

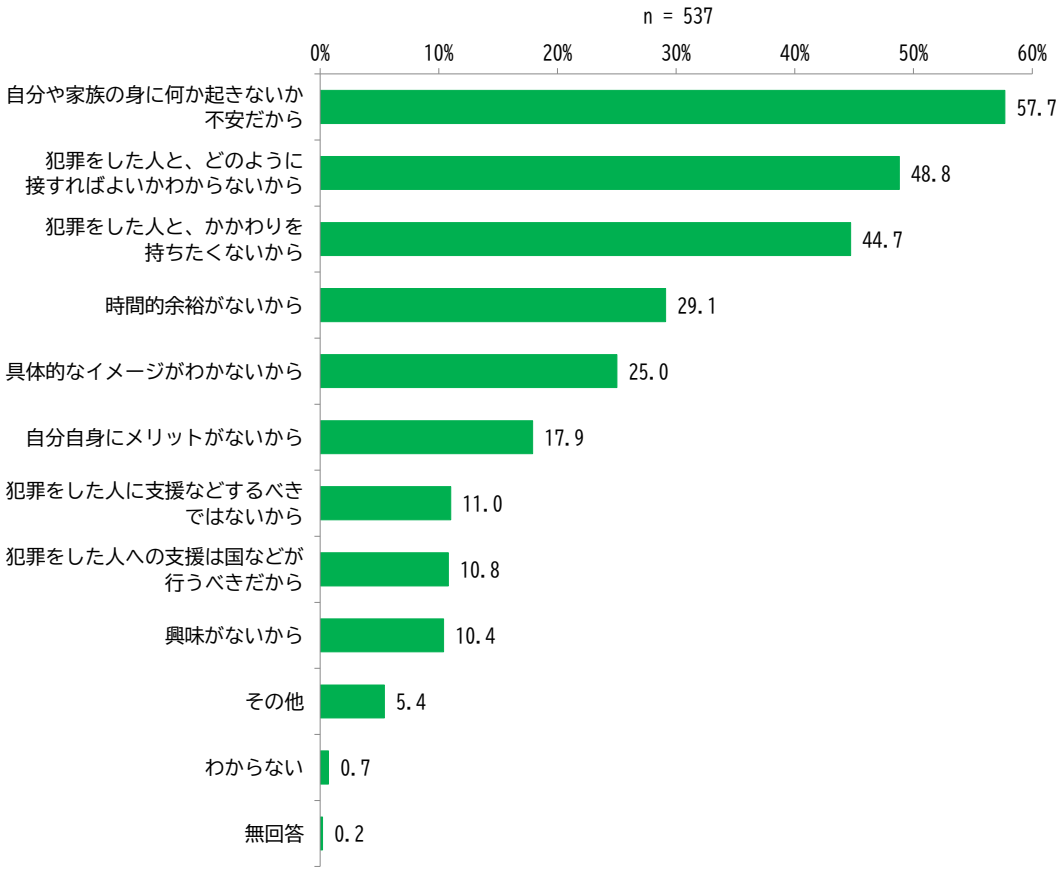


## ７－３　協力したいと思わない理由

【問 29 で「どちらかといえば思わない」または「思わない」と答えた方にお聞きします。】
問 29－１　協力したいと思わない理由は何ですか。（いくつでも）

- 「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が 57.7%で最も高く、次いで「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が 48.8%、「犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから」が 44.7%となっています。

**図表 7-3 協力したいと思わない理由**



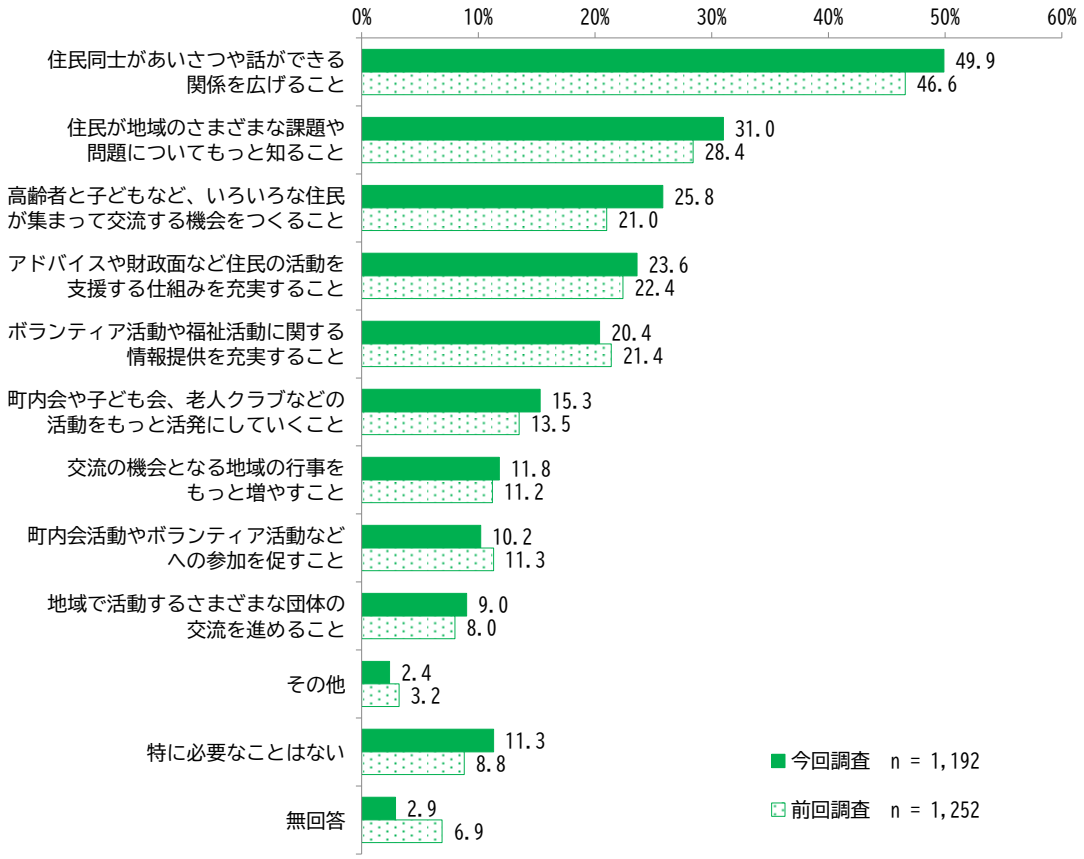
# 8　稲沢市のこれからの地域福祉について

## 8－1　地域福祉をより活発にするために住民がすべきこと

問 30　あなたの住む地域の福祉をより活発にするためには、住民にとってどのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも）

- 「住民同士があいさつや話ができる関係を広げること」が 49.9%で最も高く、次いで「住民が地域のさまざまな課題や問題についてもっと知ること」が 31.0%、「高齢者と子どもなど、いろいろな住民が集まって交流する機会をつくること」が 25.8%となっています。
- 前回調査と比べると、「高齢者と子どもなど、いろいろな住民が集まって交流する機会をつくること」（21.0%→25.8%）が 4.8 ポイント増加し、第5位から第3位へと順位を上げています。

**図表 8-1 地域福祉をより活発にするために住民がすべきこと**

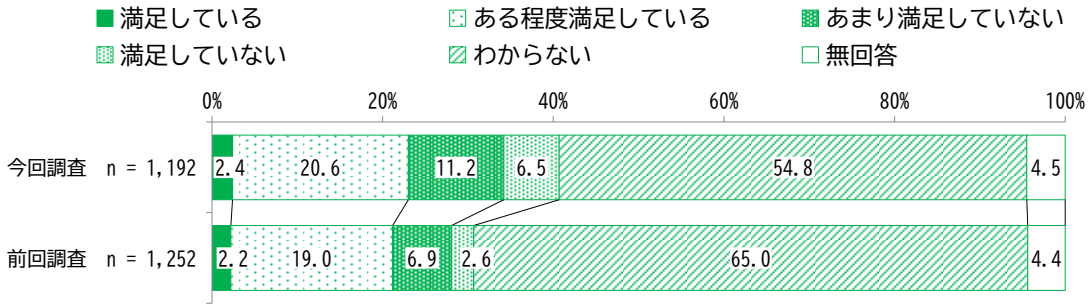


## ８－２　市の福祉事業・活動全般の満足度

問 31　あなたは、現在の稲沢市が行う福祉事業・活動全般において、満足していますか。（１つだけ）

- 「わからない」が 54.8%で最も高く、『満足している』(「満足している」「ある程度満足している」の計)は 23.0%、『満足していない』(「満足していない」「あまり満足していない」の計)は 17.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「わからない」(65.0%→54.8%)が 10.2 ポイント減少し、『満足していない』(9.5%→17.7%)が 8.2 ポイント増加しています。

**図表 8-2 市の福祉事業･活動全般の満足度**

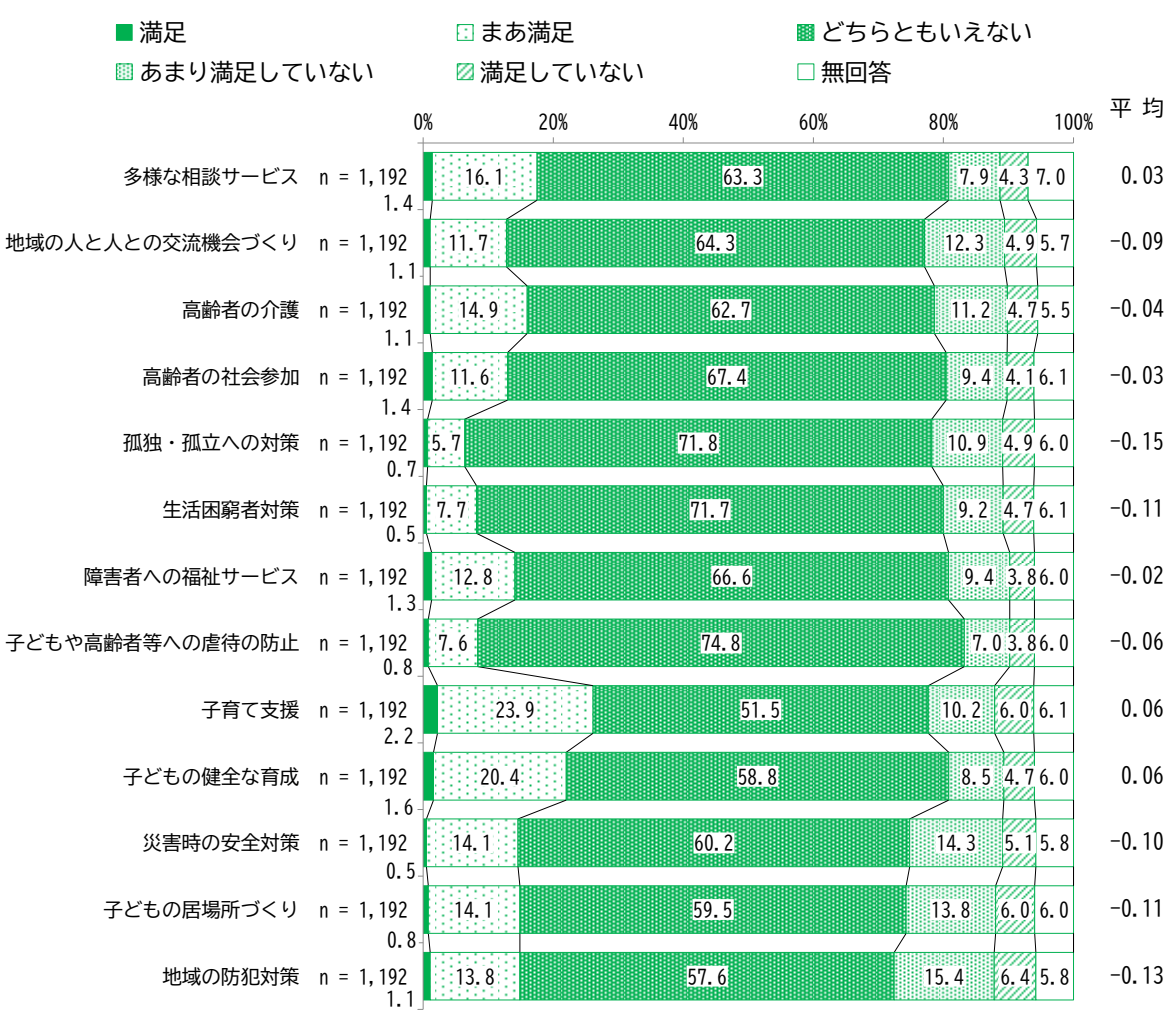


## ８－３　稲沢市の福祉の満足度

問 32　あなたは、稲沢市の福祉に満足していますか。１～13 の内容ごとにお答えください。（それぞれ１つずつ）

- 「満足」を2点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまり満足していない」を－1点、「満足していない」を－2点として、各項目の加重平均を計算すると、平均点は高い順に「子育て支援」「子どもの健全な育成」がともに 0.06 点、「多様な相談サービス」が 0.03 点となっています。また、平均点の低い順では「孤独・孤立への対策」が-0.15 点、「地域の防犯対策」が-0.13 点、「生活困窮者対策」及び「子どもの居場所づくり」が-0.11 点となっています。

**図表 8-3 稲沢市の福祉の満足度**

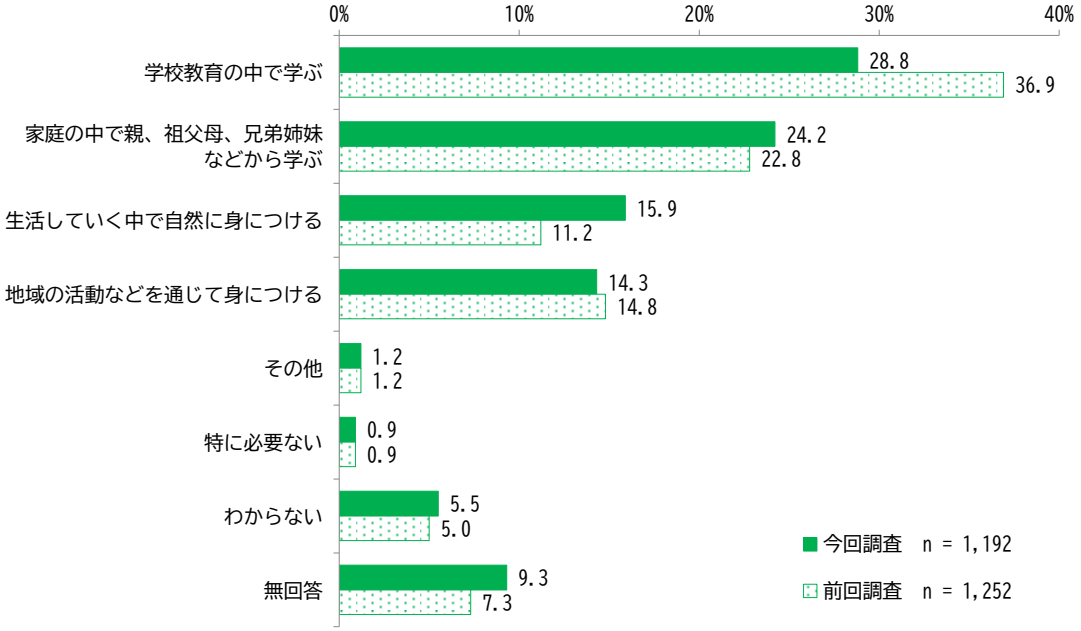


## ８－４　福祉教育の望まれる実施方法

問 33　あなたは、思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育をどのように行うのがよいと考えますか。（１つだけ）

- 「学校教育の中で学ぶ」が 28.8%で最も高く、次いで「家庭の中で親、祖父母、兄弟姉妹などから学ぶ」が24.2%、「生活していく中で自然に身につける」が15.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「生活していく中で自然に身につける」（11.2%→15.9%）が 4.7 ポイント増加し、第4位から第3位へと順位を上げています。また、「学校教育の中で学ぶ」（36.9%→28.8%）が 8.1 ポイント減少しています。

**図表 8-4 福祉教育の望まれる実施方法**

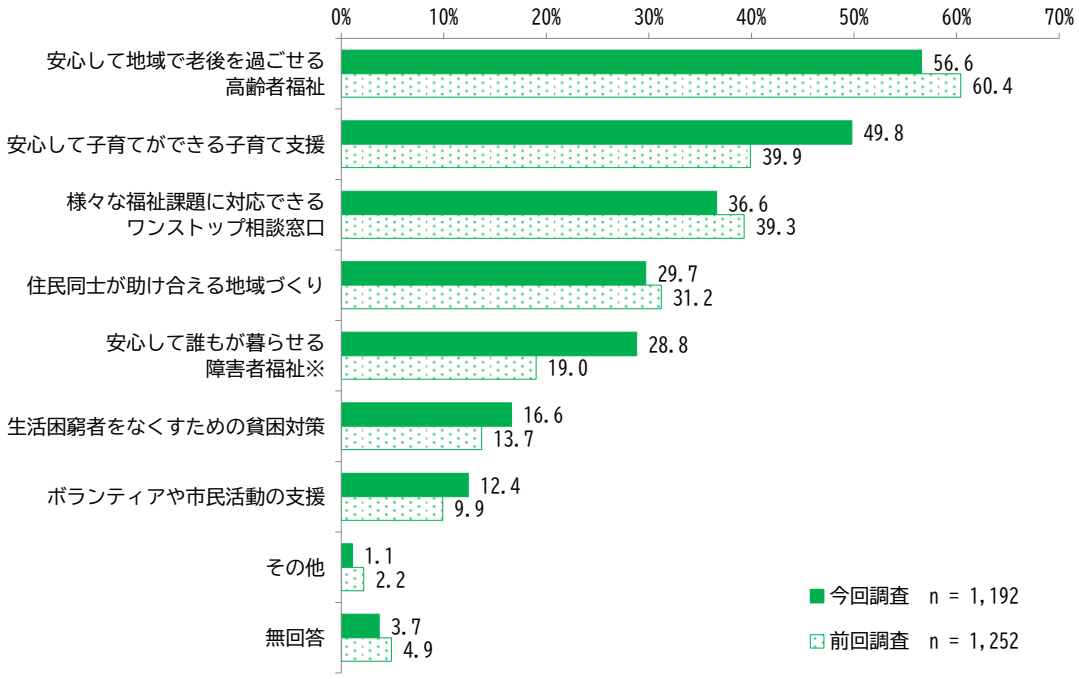


## ８－５　市のこれからの福祉で重点をおくべきこと

問 34　稲沢市のこれからの福祉は何に重点をおくべきだと思いますか。（いくつでも）

- 「安心して地域で老後を過ごせる高齢者福祉」が 56.6%で最も高く、次いで「安心して子育てができる子育て支援」が 49.8%、「様々な福祉課題に対応できるワンストップ相談窓口」が 36.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「安心して子育てができる子育て支援」（39.9%→49.8%）が 9.9 ポイント、「安心して誰もが暮らせる障害者福祉」（19.0%→28.8%）が 9.8 ポイント、それぞれ増加しています。

**図表 8-5 市のこれからの福祉で重点をおくべきこと**




※「安心して誰もが暮らせる障害者福祉」は前回調査では「誰もが等しく暮らせるための障害者福祉」

## ８－６　市の福祉に関する意見・要望等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 35　最後に、あなたは、これからの福祉について、どのような取組が必要だと思いますか。また、稲沢市の福祉に関するご意見・ご要望などがございましたら、自由にご記入ください。

- これからの福祉に必要な取組や市の福祉に関する意見･要望については、302 件の回答がありました。内容別の件数は、下表のとおりです。

**図表 8-6 市の福祉に関する意見･要望等**

| | 内 容 | 件 数 |
|---|---|---|
| 1 | 情報提供 | 29 |
| 2 | 高齢者支援について | 29 |
| 3 | 子育て支援について | 22 |
| 4 | 専門職･役所の対応 | 20 |
| 5 | 交通手段について | 19 |
| 6 | 町内の活動について | 19 |
| 7 | 福祉支援全体について | 19 |
| 8 | 相談窓口 | 18 |
| 9 | コミュニケーション･交流の機会、場所 | 12 |
| 10 | 災害について | 9 |
| 11 | 公園･遊び場の整備 | 8 |
| 12 | 施設･設備の充実 | 8 |
| 13 | 講座の実施、学ぶ機会 | 7 |
| 14 | 障害者支援について | 6 |
| 15 | 有償活動の実施 | 5 |
| 16 | 連携について | 5 |
| 17 | 経済的支援 | 4 |
| 18 | 医療の充実 | 4 |
| 19 | 税金について | 4 |
| 20 | 高齢、障害、子育て以外の支援 | 4 |
| 21 | 防犯対策 | 3 |
| 22 | 歩道･道路等の整備 | 3 |
| 23 | 学習支援 | 2 |
| 24 | その他 | 33 |
| 25 | わからない | 10 |
| 合 計 | | 302 |